



LIXIL

人工木デッキ ウッドパーティション

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



注意

- 設置場所を確認してください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- T-18をデッキ上に設置する場合は、あらかじめ指定の箇所に床板補強材を組込み施工してください。



ポイント

- 保管時・施工時に部材の反り・曲がり・伸び等の防止のため、以下の事項を守ってください。
 - ・直射日光を避けて保管してください。
 - ・平らな場所に保管してください。(立てかけて置かないでください)
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。



<施工上のご注意>

注意

- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：1.5N・m
 - ・φ5ネジ：3.0N・m
- 支柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがらないでください。

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って（平行）行なってください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

INDEX

1	梱包明細表	3	7	柱の埋込み	32
2	施工時の重要注意事項	7	8	パネルの事前準備	33
3	基本寸法と各部名称	8	1.	パネルの切詰め	33
1.	各部名称	8	2.	上棧の切詰め	36
2.	基本寸法図	10	3.	中棧の切詰め	36
3.	納まり図	12	4.	下棧の切詰め	37
4	柱の事前準備	16	9	パネルの取付け	38
1.	主柱の場合	16	1.	下棧の取付け	38
2.	アルミ柱の場合	17	2.	パネルの取付け	39
3.	コーナー柱の場合	18	3.	上棧の取付け	43
4.	下棧受け部品の取付け	19	4.	2段フェンスの取付け	44
5	柱の取付け	21	10	柱キャップの取付け	45
1.	正面床板固定の場合	21	1.	ベース仕様、埋込仕様（T-8～T-12）の場合	45
2.	正面大引固定の場合	23	2.	埋込仕様（T-18）の場合	45
3.	側面床板固定の場合	26	11	施工後の仕上げ	46
4.	側面床板補強材固定の場合	28	1.	ベースプレートカバーの取付け オプション	46
6	コーナー柱の取付け	30	2.	仕上げ	47

1 梱包明細表

【1】主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数			
		T-8	T-10	T-12	T-18
主柱 (ベース仕様)		1	1	1	1
柱下側スリーブ材		1	1	-	-
柱キャップ		1	1	1	1
補強用インナー材		-	1	1	-
【1-1】φ4×20サラタッピンネジ3種		4	4	-	-
【1-2】φ5×40ナベタッピンネジ2種G=5		4	4	4	4
【1-3】φ4×16サラドリルネジ		2	2	2	2

【2】アルミ主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数		
		T-8	T-10・12	T-18
アルミ柱 (ベース仕様)		1	1	1
柱キャップ		1	1	1
補強用インナー材		-	1	-
【2-1】φ5×40ナベタッピンネジ2種G=5		4	4	4
【2-2】φ4×16サラドリルネジ		2	2	2

【3】主柱セット・埋込仕様

名 称	略 図	員 数	
		T-12以下	T-18
埋込用主柱 (T-12以下)		1	-
埋込用主柱 (T-18)		-	1
柱キャップ		1	-
埋込用柱キャップ		-	1
【3-1】φ4×16サラドリルネジ		2	-




【4】コーナー柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数
コーナー柱 (ベース仕様)		1
コーナー柱化粧材		1
【4-1】φ4×35サラドリルネジ		2

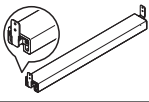
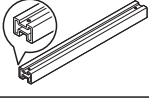







【5】ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数			
		大引 固定用	床板 固定用	床板補強材 固定用	コーナー柱 固定用
ベースプレート		1	1	1	-
ベースプレート (コーナー柱用)		-	-	-	1
ベースプレート- 大引固定アングル		2	-	-	-
フェンス固定材		-	2	-	2
【5-1】φ4×13 ナベドリルネジ		4	-	-	-
【5-2】φ5×70 ナベドリルネジ		6	5	6	-
【5-3】M5×60 トラス小ネジ		-	2	-	-
【5-4】φ4×30 サラタッピンネジ2種G=5		-	-	-	4
【5-5】φ5×65 サラドリルネジ		-	-	-	5
【5-6】M5×60 サラ小ネジ		-	-	-	2
ネジカバー		6	-	-	-








【6】 柱控え部材セット (T-18)

名 称	略 図	員 数
柱控え部材		1
【6-1】 φ5×30ナベドリルネジ		2
【6-2】 φ5×70ナベドリルネジ		3

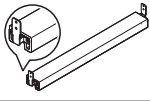



【7】 上下棧セット

名 称	略 図	員 数
上棧		1
下棧		1
下棧受け部品		2
ゲージプレートE		1
修正用研磨紙		1
クッション材		6
【7-1】 φ4×30ナベドリルネジ		4
【7-2】 φ5×25ナベタッピンネジ3種		2
【7-3】 φ4×25ナベドリルネジ		4
取付説明書<E352>	—	1

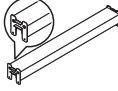
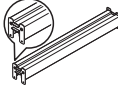

【8】 上下棧取付金具セット

名 称	略 図	員 数
上棧受け金具		2
下棧受け部品		2
【8-1】 φ4×13サラダドリルネジ		2
【8-2】 φ4×20ナベタッピンネジ2種 G=5		4
【8-3】 φ4×30ナベドリルネジ		4
【8-4】 φ5×25ナベタッピンネジ3種		2
【8-5】 φ4×25ナベドリルネジ		4








【9】 上棧セット

名 称	略 図	員 数
上棧		1
ゲージプレートC		1
修正用研磨紙		1
【9-1】 φ4×25ナベドリルネジ		4
取付説明書<E352>	—	1

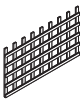







【10】 中棧セット

名 称	略 図	員 数	
		横ビーム パネル用	プライバシー パネル用
中棧 (上段ビームパネル)		1	—
中棧		—	1
【10-1】 φ3.8×20ナベ特殊ネジ		4	4

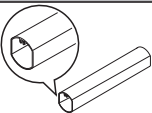
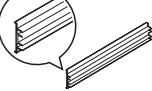
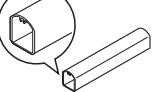





【11】 フラットラチスパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		T-12以下	T-18
ラチスパネル		1	1
ラチス棧固定金具		—	4
【11-1】 φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	8
【11-2】 φ4×20トラスタッピンネジ3種		—	4
【11-3】 φ4×30トラスタッピンネジ3種		—	2
【11-4】 M4六角袋ナット		—	4
【11-5】 M4平座金		—	8

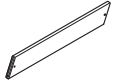
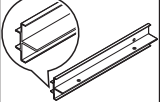
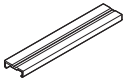










【12】 井桁格子パネルセット

名 称	略 図	員 数		
		T-08 T-12	T-10	T-18
井桁格子パネル		1	1	1
格子パネル振れ止め		2	-	-
ラチス枠固定金具		-	-	4
【12-1】 φ3.8×20ナベ特殊ネジ		-	-	8
【12-2】 φ4×20トラスタッピンネジ3種		-	-	4
【12-3】 φ4×30トラスタッピンネジ3種		-	-	2
【12-4】 M4六角袋ナット		-	-	4
【12-5】 M4平座金		-	-	8



【13】 横ビームパネルセット

名 称	略 図	員 数		
		T-04	T-08	T-10
ビーム棧		2	2	3
ビーム棧枠材		2	2	2
下段用ビーム棧		-	1	1
クッション材		2	2	2
ビーム棧枠材受け金具		-	2	2
【13-1】 φ4×20ナベタッピンネジ2種G=5		4	6	8
【13-2】 φ4×19ナベドリルネジ		-	2	2
【13-3】 φ4×30ナベドリルネジ		4	4	4

【14】 クロスパネルセット

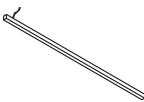


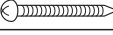
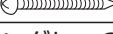
名 称	略 図	員 数	
クロス棧		2	
クロス棧枠材		2	
下棧溝隠し材		1	
クッション材		2	
【14-1】 φ5×30トラスタッピンネジ3種		4	
【14-2】 φ4×30サラドリルネジD=6		4	
【14-3】 M4×45トラス小ネジ		1	
【14-4】 M5六角袋ナット		4	
【14-5】 M5平座金		8	
【14-6】 M5バネ座金		4	
【14-7】 M4六角袋ナット		1	
【14-8】 M4平座金		2	
【14-9】 M4バネ座金		1	

【15】 プライバシーパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		T-06以下	T-08以上
ポリカパネル上乘せ		1	-
ポリカパネル		-	1

【16】 LED照明セット

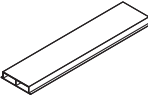



オプション

名 称	略 図	員 数	
LED照明ユニット本体		1	
LEDユニット固定金具		2	
【16-1】 φ4×8トラスタッピンネジ3種 (D=8) 生地		2	
【16-2】 φ4×50トラスタッピンネジ1種 ※1		2	
【16-3】 φ4×50トラスタッピンネジ1種 ※2		2	

※1 生地色 (配線カバーがシャイングレーの場合に使用)

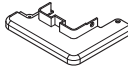





※2 ブロンズ色 (配線カバーがマイルドブラック、オータムブラウンの場合に使用)

【17】床板補強材セット

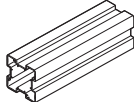
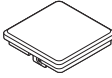
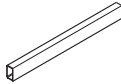


名 称	略 図	員 数
床板補強材		1
大引アングル		4
【17-1】φ4×13ナベドリルネジ		20
ネジカバー		8

【18】ベースプレートカバーセット



オプション

名 称	略 図	員 数	
		コーナ-柱用	主柱用
70角柱ベースプレートカバー		-	2
70角柱ベースプレートカバー隙間塞ぎ		-	2
ベースプレートカバー(コーナ-柱用)		2	-
【18-1】φ4×20サラタッピンネジ1種 D=6		2	-
【18-1】φ4×8サラタッピンネジ3種 D=6		-	2
【18-2】φ4×25サラタッピンネジ3種 D=6		-	2

【19】アルミ主柱セット・ベース仕様

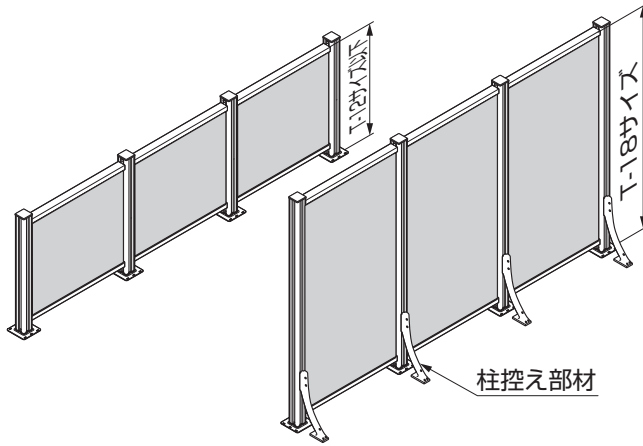
名 称	略 図	員 数		
		T-8	T-10・12	T-18
アルミ柱(ベース仕様)		1	1	1
柱キャップ		1	1	1
補強用インナー材		-	1	-
【19-1】φ5×40ナベタッピンネジ2種G=5		4	4	4
【19-2】φ4×16サラドリルネジ		2	2	2

【20】床板縦切り用インナー材

名 称	略 図	員 数
床板縦切りインナー材		1
【20-1】φ4×16サラドリルネジ		4

2 施工時の重要注意事項

1-1 ベース仕様



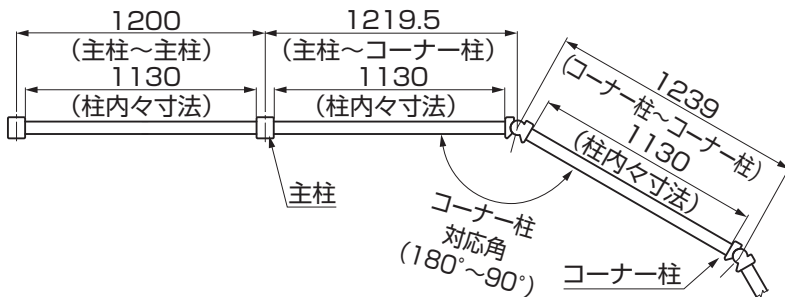
⚠ 注意

- T-18のフェンスには、必ず柱控え部材を組付けてください。組付けをしないと強度不足による事故のおそれがあります。

🔑 ポイント

- 柱控え部材の下に、床板補強材が入っていることを確認してください。床板補強材の取付方法については、「柵目・ブレンタイプ 取付説明書〈E470〉」を参照してください。

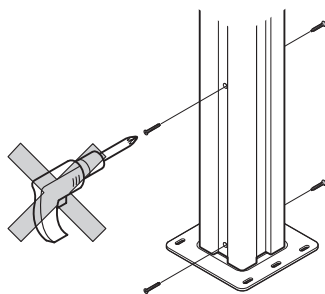
1-2 コーナー柱仕様



🔧 補足

- コーナー柱はH800,H1000,H1200のみ対応です。
- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが変わりますので注意してください。
- コーナー柱の対応角は180°~90°です。

1-3 人工木の組付け時の注意



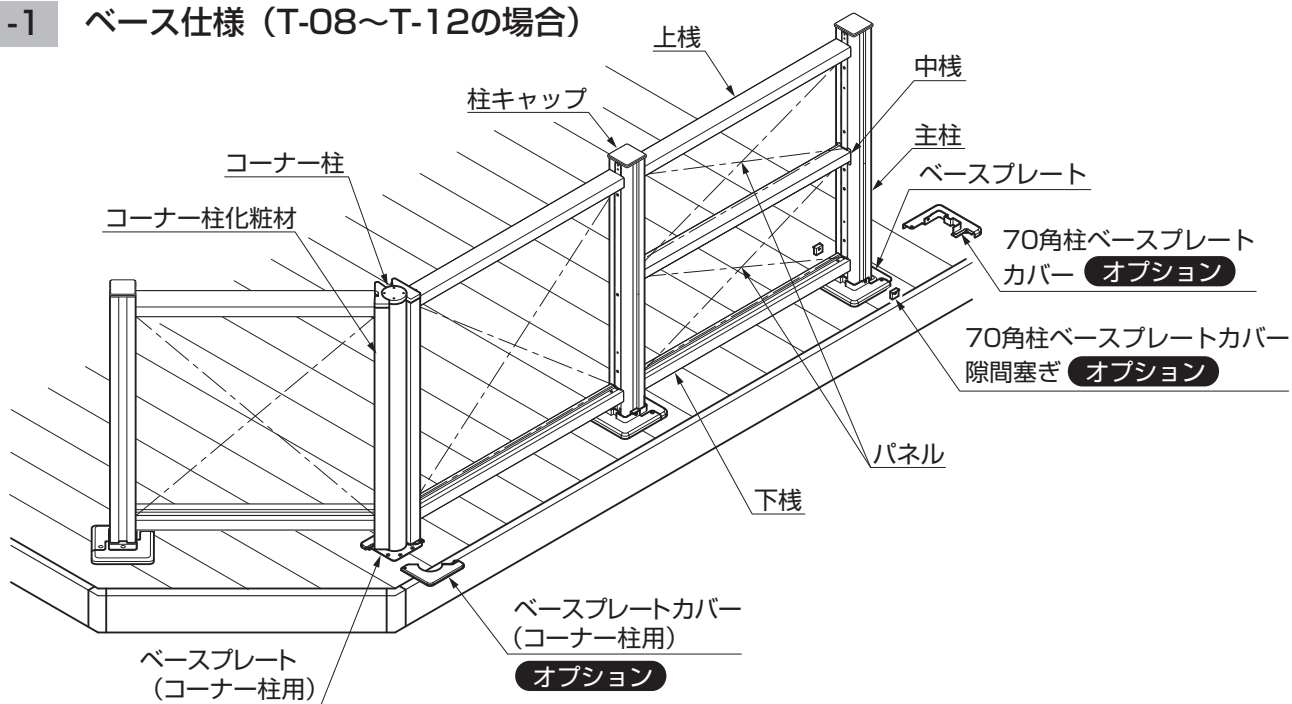
🔑 ポイント

- 人工木の取付には電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れるおそれがありますので注意してください。

3 基本寸法と各部名称

1.各部名称

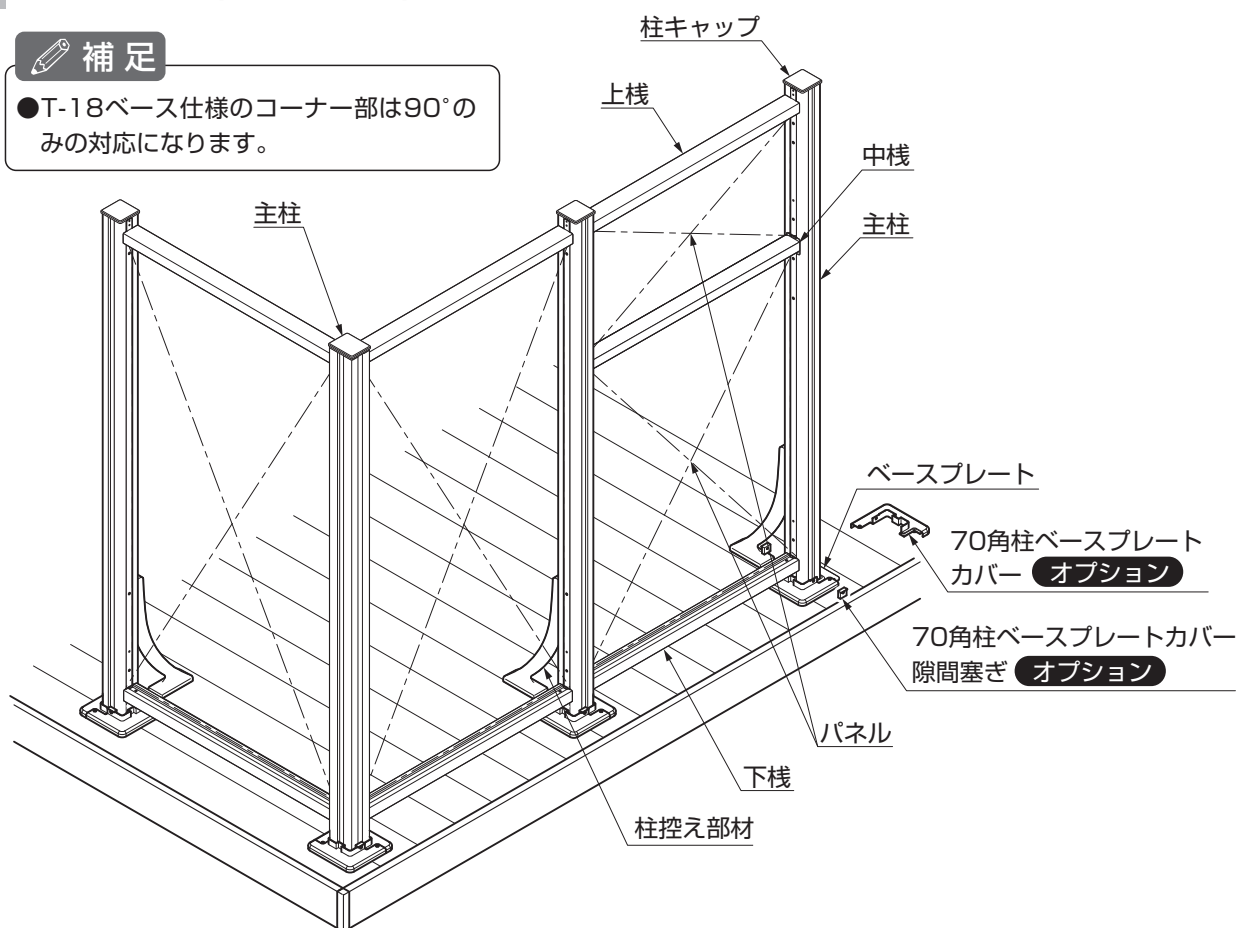
1-1 ベース仕様 (T-08~T-12の場合)



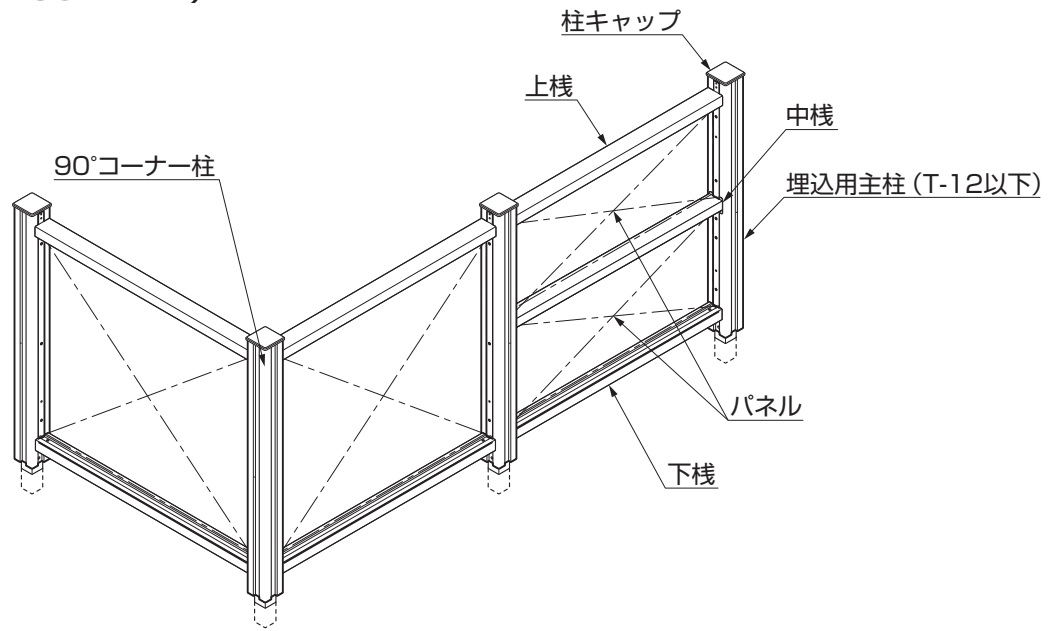
1-2 ベース仕様 (T-18の場合)

補足

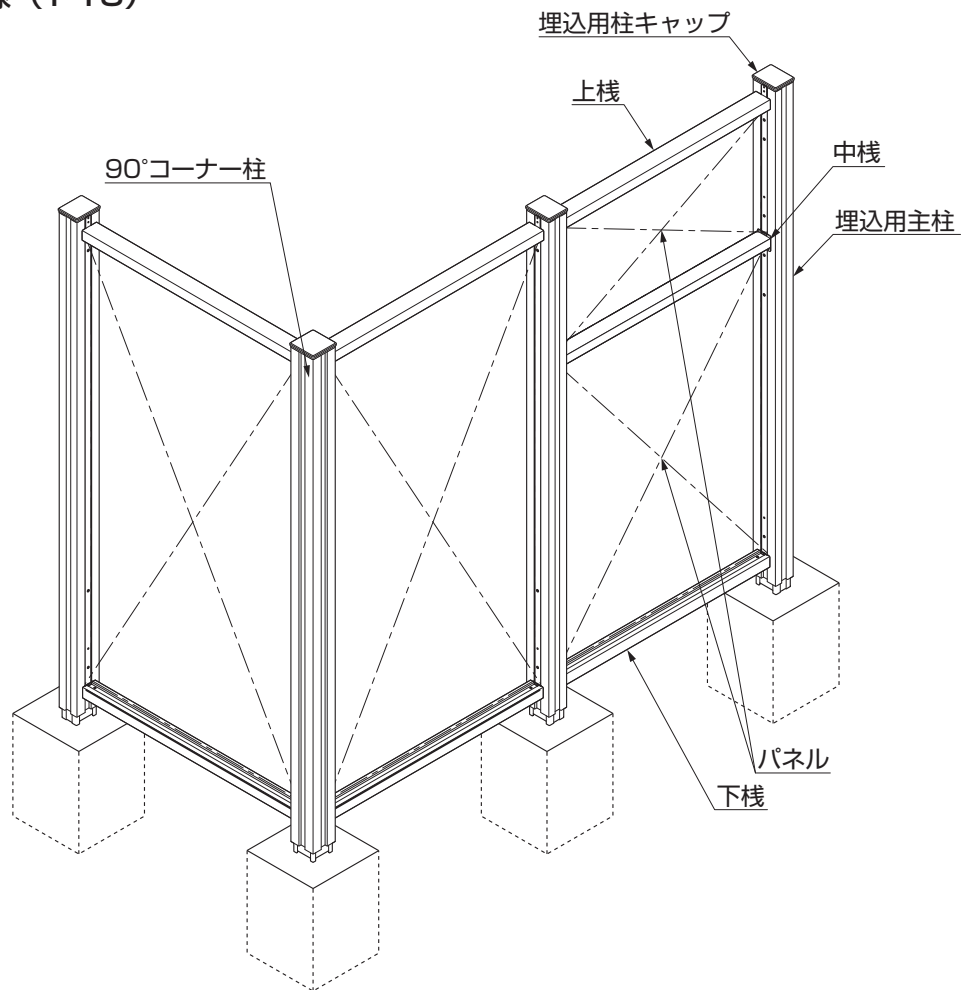
●T-18ベース仕様のコーナー部は90°のみの対応になります。



1-3 埋込仕様 (T-08~T-12)



1-4 埋込仕様 (T-18)



2. 基本寸法図

2-1 ベース仕様 (T-08~T-12の場合) ※クロスパネル、横ビームパネルはT-12に対応していません。

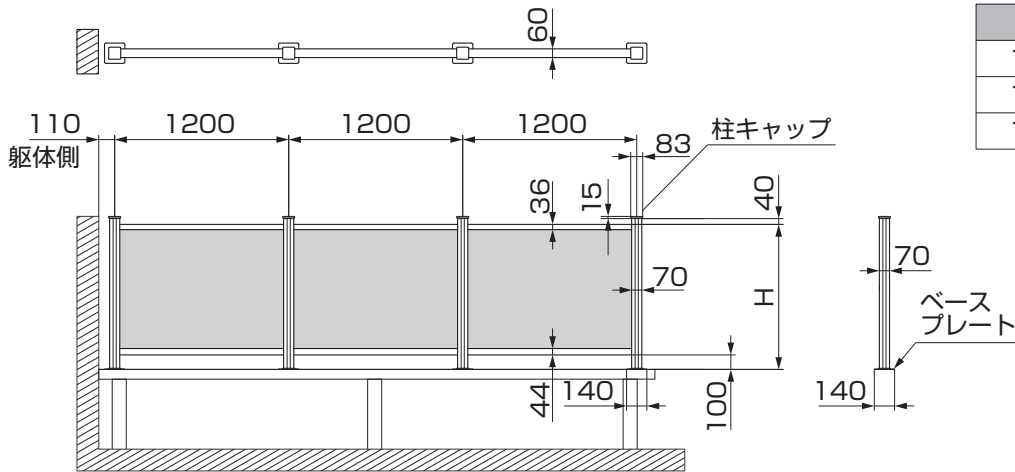


表2-1

呼称	H寸法
T-08	800
T-10	1000
T-12	1200

2-2 ベース仕様 (T-18の場合) ※クロスパネル、横ビームパネル、プライバシーパネルは対応していません。

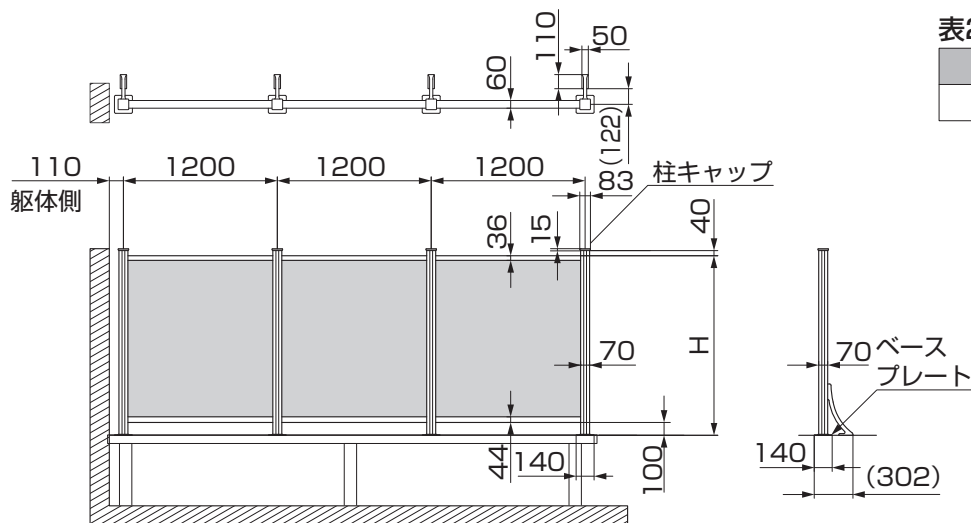


表2-2

呼称	H寸法
T-18	1800

2-3 埋込仕様 (T-08~T-12の場合) ※クロスパネル、横ビームパネルはT-12に対応していません。

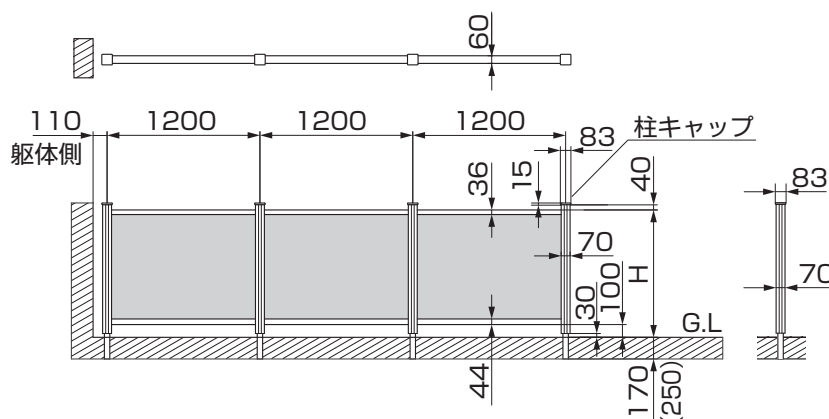


表2-3

呼称	H寸法
T-08	800
T-10	1000
T-12	1200

補足

- ()寸法はT-12の場合です。

2-4 埋込仕様 (T-18の場合) ※クロスパネル、横ビームパネル、プライバシーパネルは対応していません。

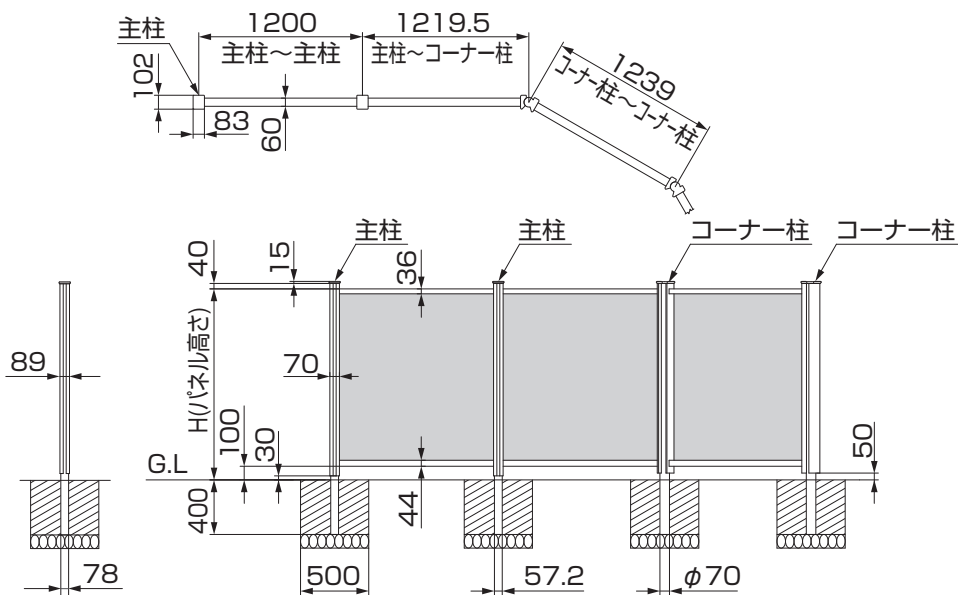
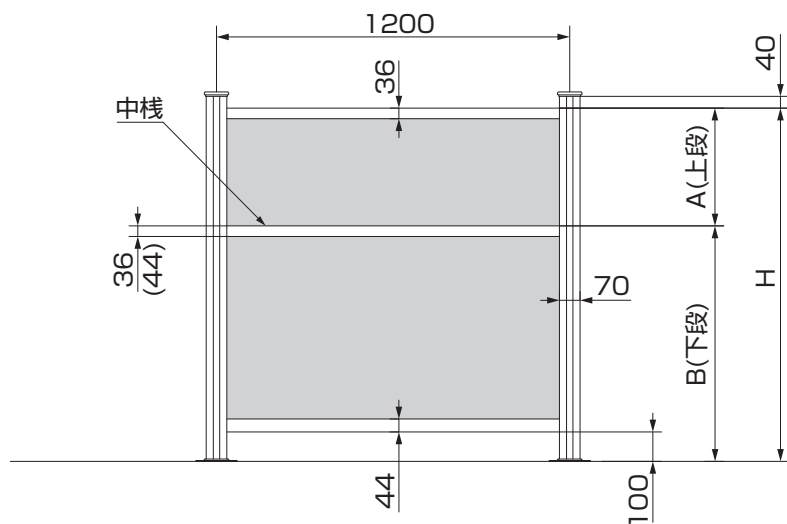


表2-4

呼称	H寸法
T-18	1800

2-5 2段フェンス仕様



補足

● () 寸法は上段プライバシーパネルの場合です。

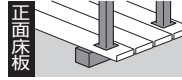
表2-5

呼称	A寸法	B寸法	H寸法
T-12	(T04-08)	400(ビームパネル)	1200
		400(プライバシーパネル)	
T-18	(T04-14)	400(ビームパネル)	1800
		400(プライバシーパネル)	
	(T06-12)	600(プライバシーパネル)	

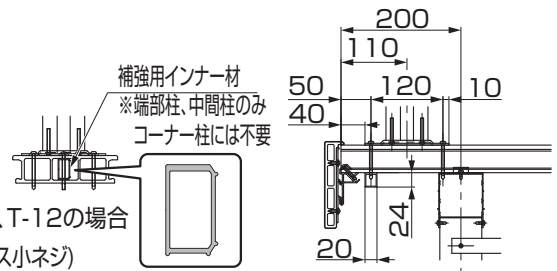
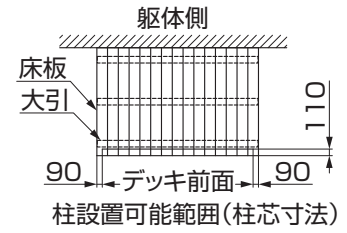
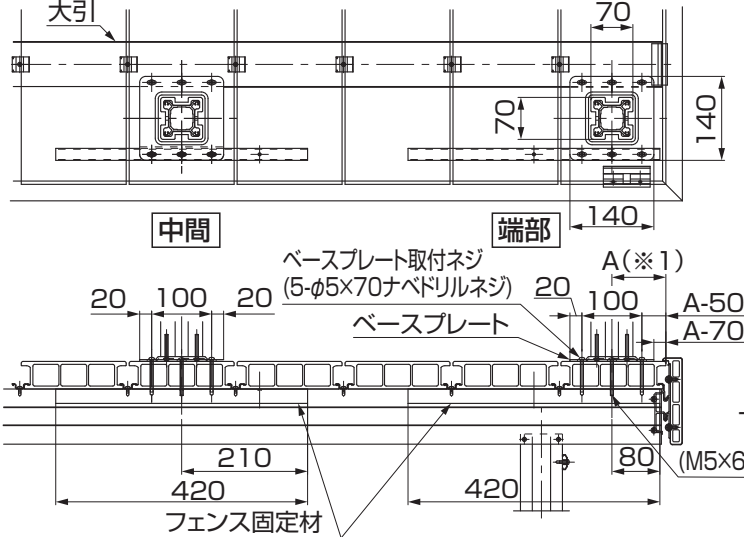
3. 納まり図

※図は樹ら楽 柱目・プレーンタイプを示します。その他デッキも同様の納まりとなります。

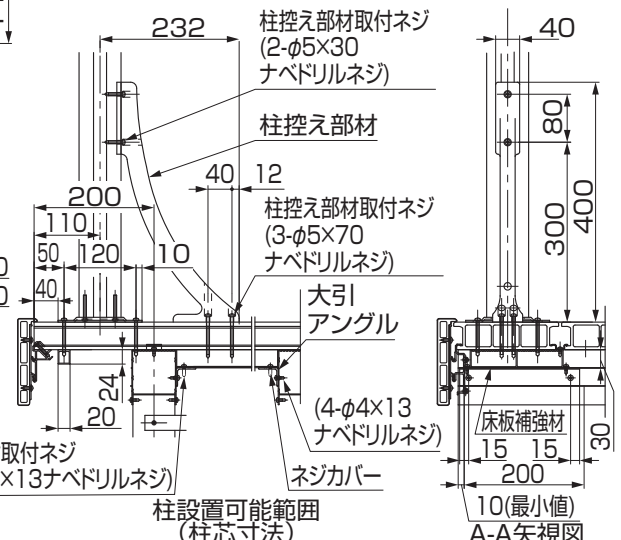
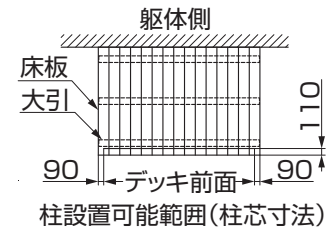
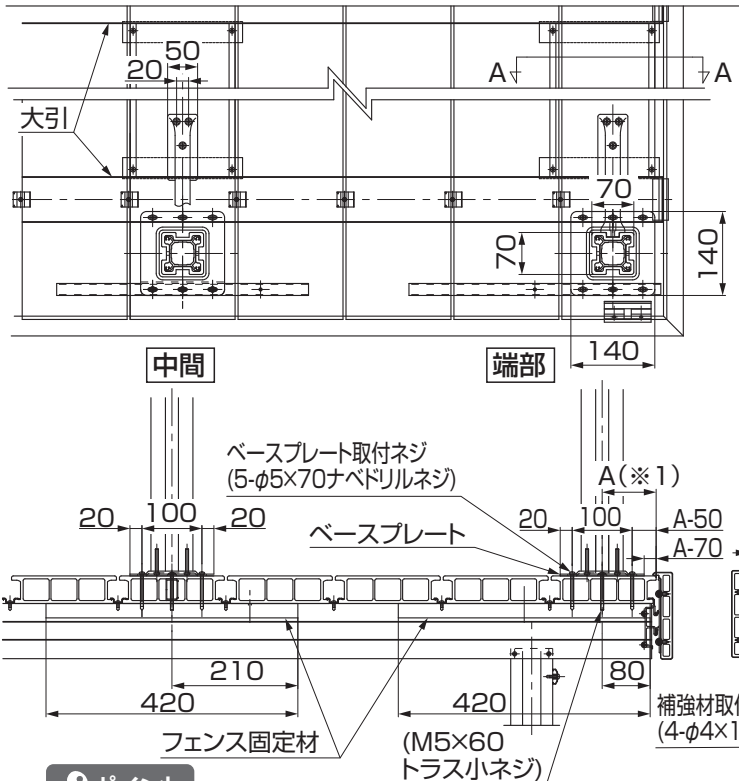
3-1 正面床板固定の場合



(1) T-08~T-12の場合

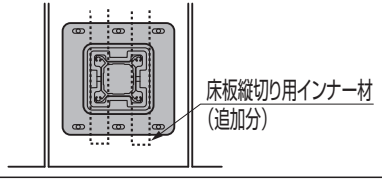


(2) T-18の場合



ポイント

※木彫タイプの場合、床板縦切りインナー材を追加する必要があります。追加方法については、P.23を確認してください。

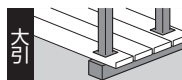


ポイント

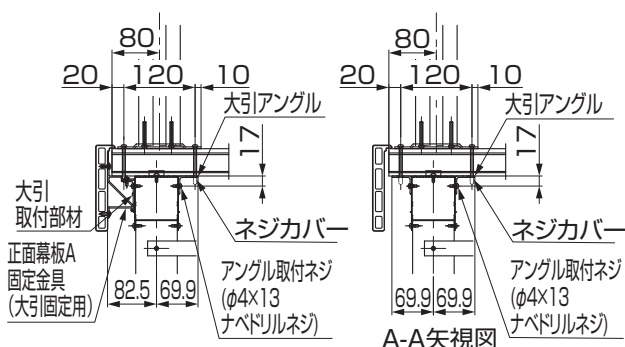
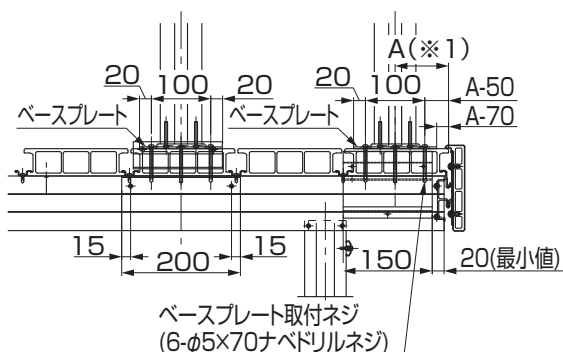
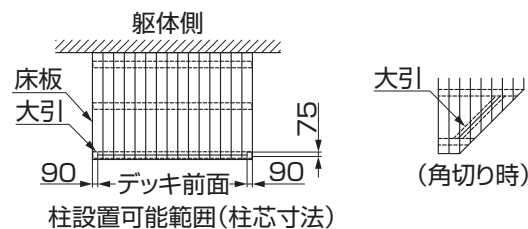
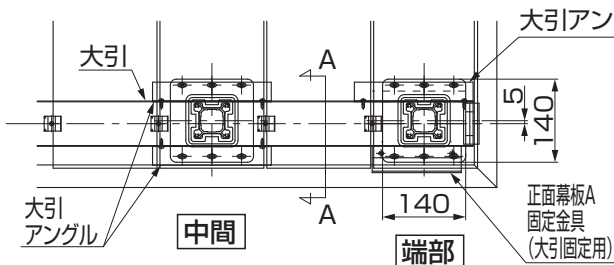
- A寸法値(※1)の最小値は90mmです。
- A寸法値(※1)の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

3 基本寸法と各部名称

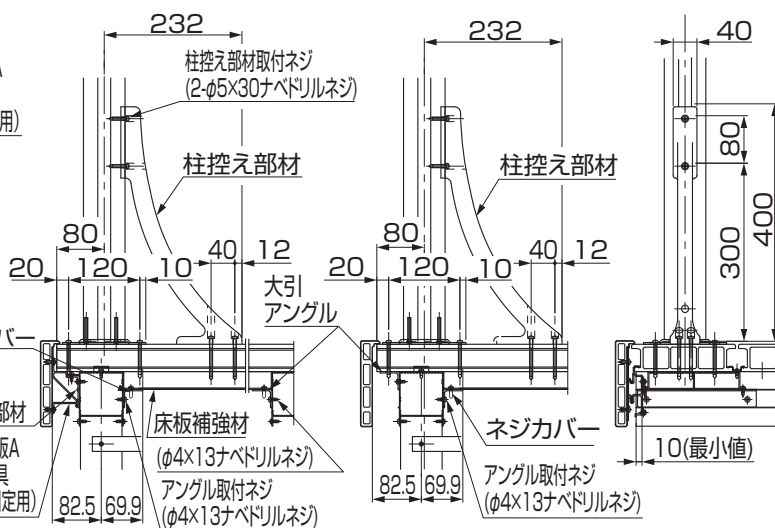
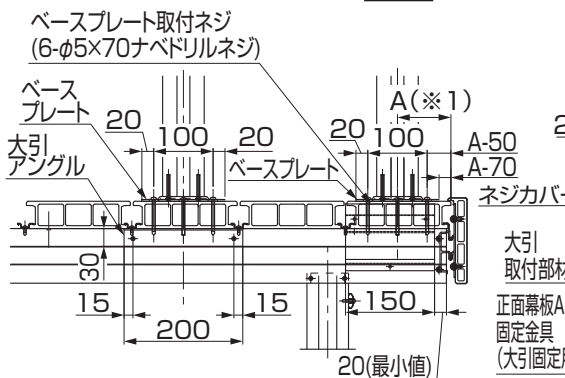
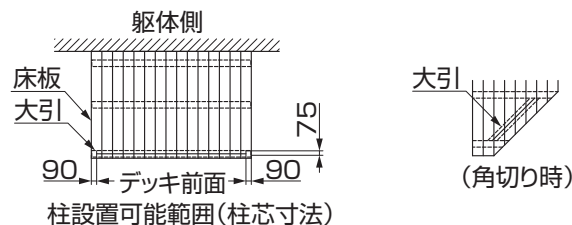
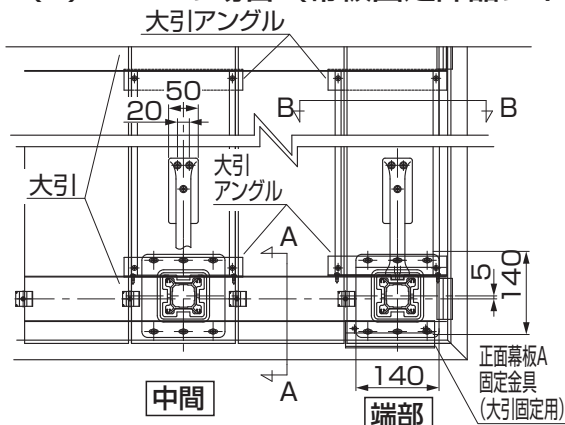
3-2 正面大引固定の場合



(1) T-08~T-12の場合 (幕板固定部品にネジ止めの場合)



(2) T-18の場合 (幕板固定部品にネジ止めの場合)

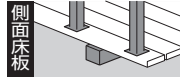


ポイント

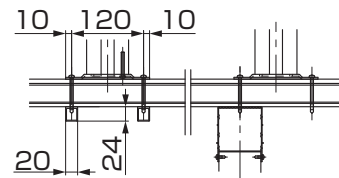
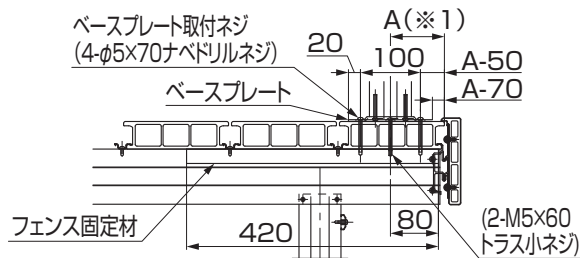
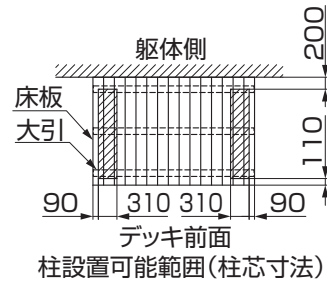
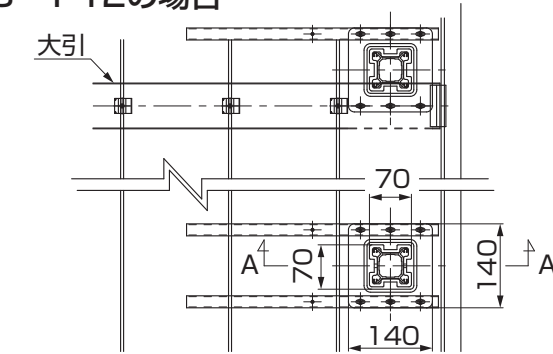
- A寸法値 (※1) の最小値は90mmです。
- A寸法値 (※1) の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

3. (つづき)

3-3 側面床板固定の場合



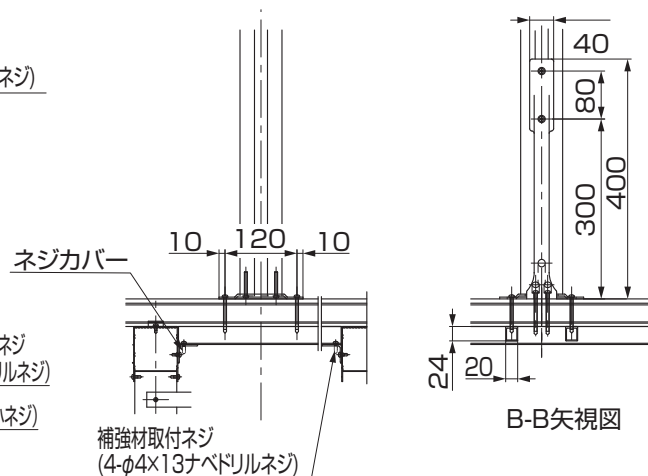
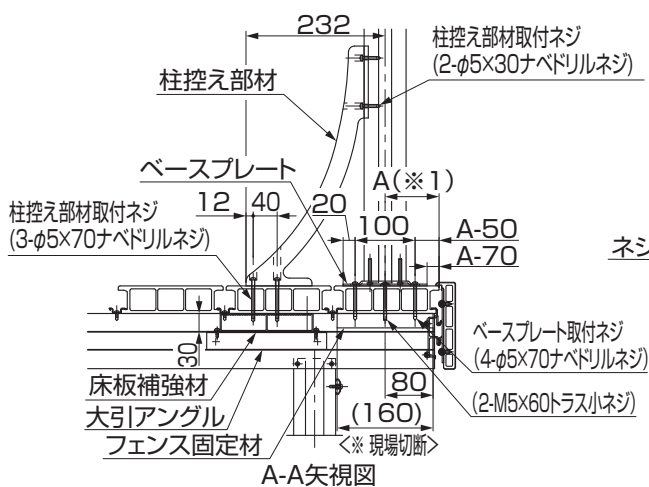
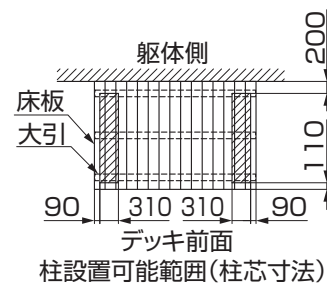
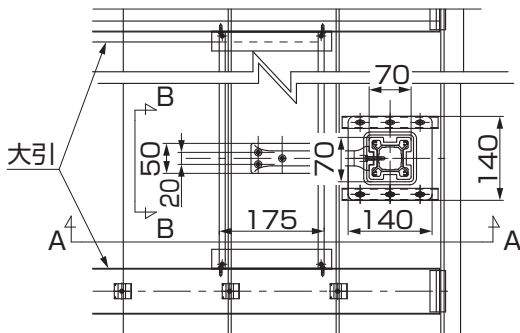
(1) T-08~T-12の場合



A-A矢視図

(2) T-18の場合

※樹ら楽木彫タイプT-18に側面床板固定の施工はしないでください。
床板側面に施工する場合、側面床板補強材固定で施工してください。



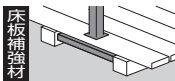
A-A矢視図

B-B矢視図

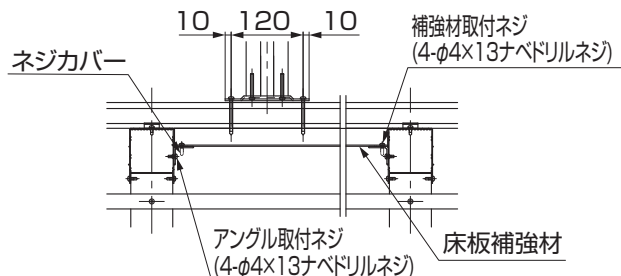
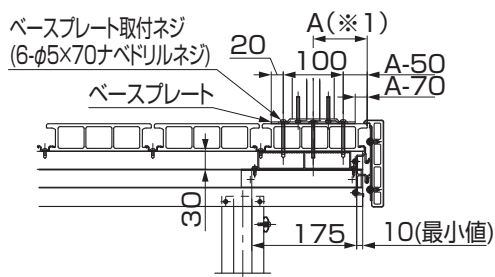
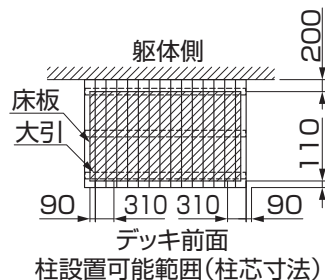
ポイント

- A寸法値(※1)の最小値は90mmです。
- A寸法値(※1)の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

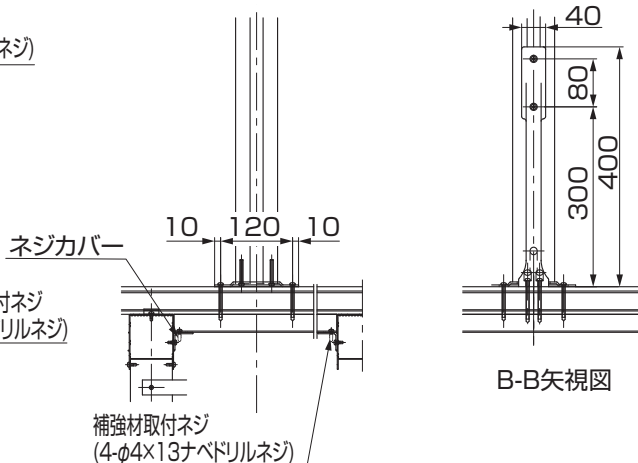
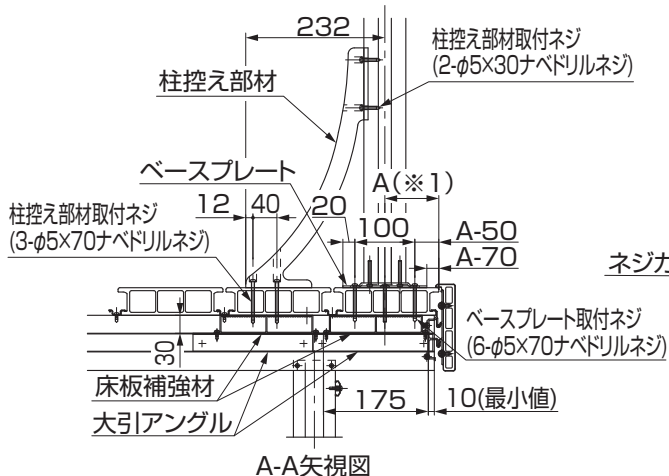
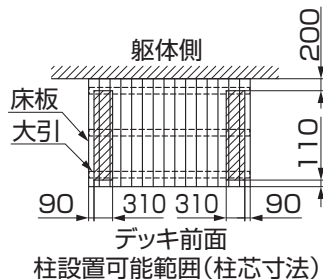
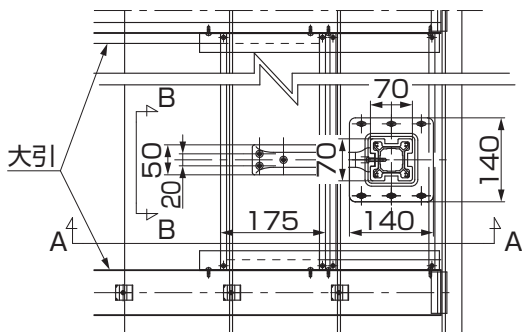
3-4 側面床板補強材固定の場合



(1) T-08~T-12の場合



(2) T-18の場合



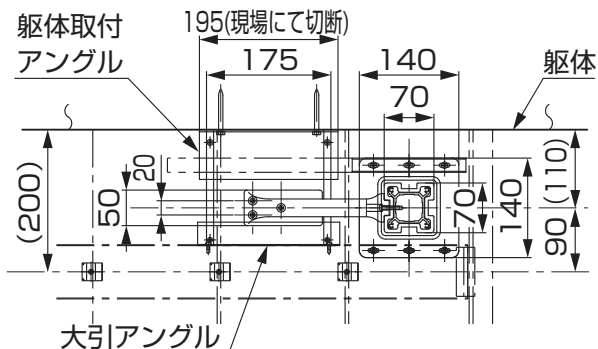
ポイント

- A寸法値(※1)の最小値は90mmです。
- A寸法値(※1)の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

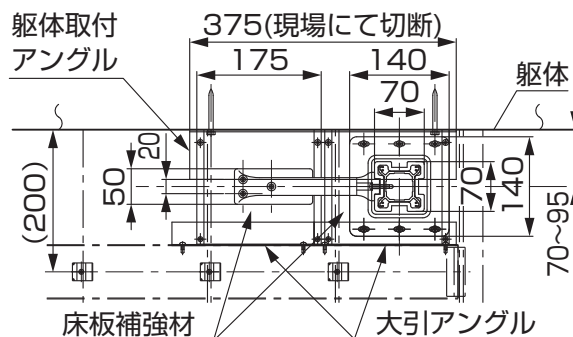
3. (つづき)

3-5 躯体から200mmの位置に固定する場合

(1) 床板固定



(2) 床板補強材固定



4 柱の事前準備

1. 主柱の場合 ※ベース仕様の場合

補足

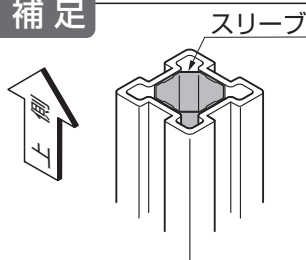


図1-1 T-08、T-10主柱

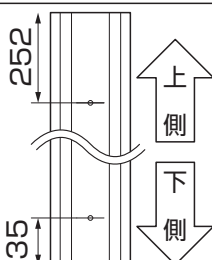
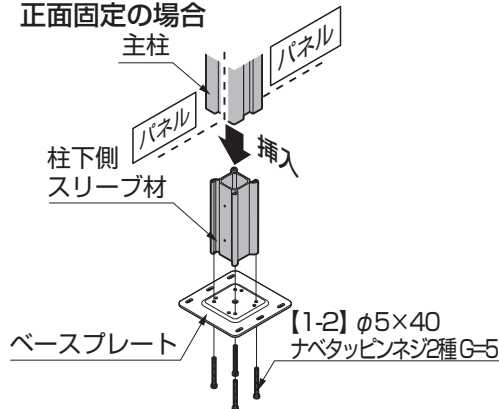


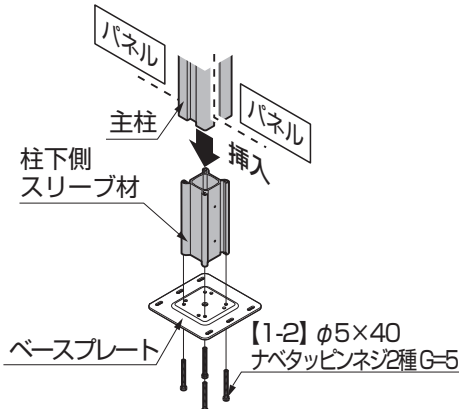
図1-2 T-12、T-18主柱

- 主柱には上下の区別があります。
- ・T-08～T-10の場合
スリーブが固定されている方が上側になります。
(図1-1参照)
- ・T-12～T-18の場合
ネジ位置で判断してください。
(図1-2参照)

T-08、T-10 正面固定の場合



側面固定の場合



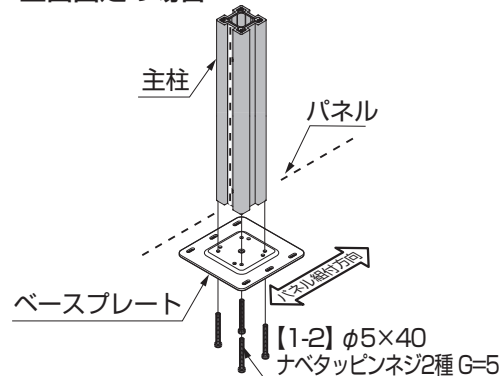
- ①柱下側スリーブ材をベースプレートに【1-2】で取付けてください。

ポイント

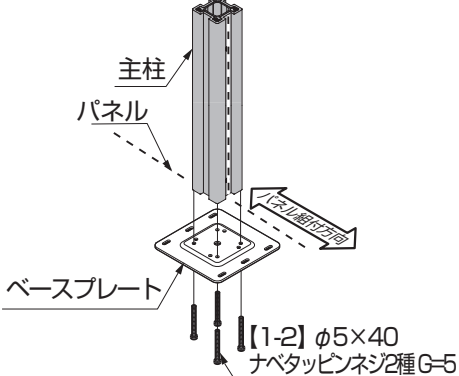
- ベースプレートの向きに注意してください。

- ②主柱を柱下側スリーブ材に挿入してください。

T-12、T-18 正面固定の場合



側面固定の場合



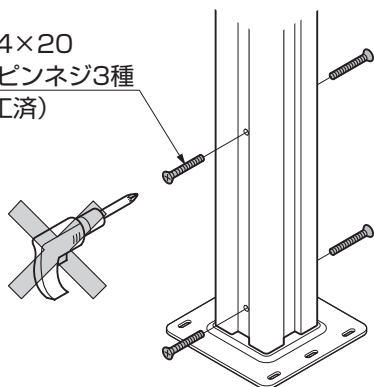
- ①主柱をベースプレートに【1-2】で取付けてください。

ポイント

- ベースプレートの向きに注意してください。

1. (つづき)

【1-1】φ4×20
サラタッピンネジ3種
(下穴加工済)



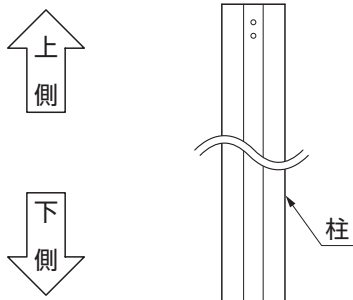
③主柱の穴位置から【1-1】で、主柱と柱下側スリーブ材を固定してください。

ポイント

- 主柱の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れるおそれがありますので注意してください。

2. アルミ主柱の場合 ※ベース仕様の場合

補足



●柱には上下の区別があります。

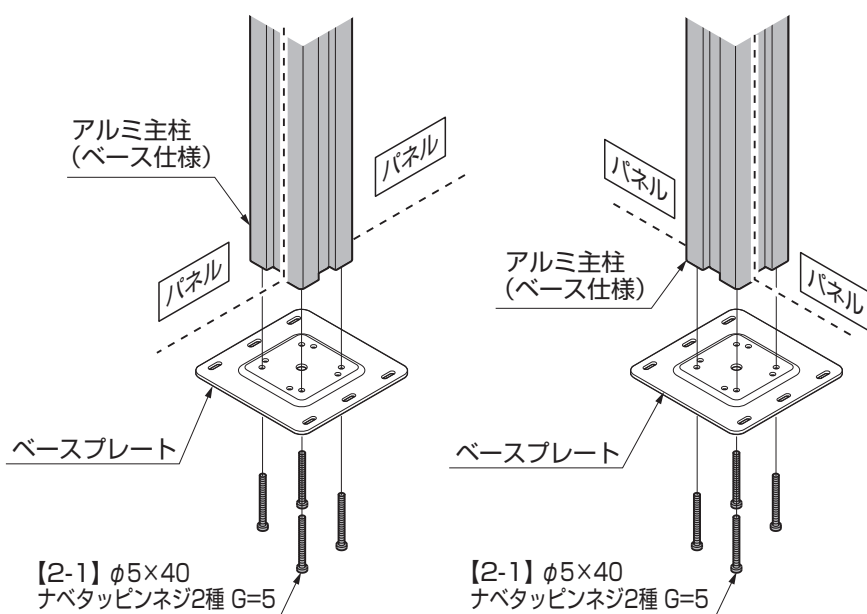


図2-1 正面固定の場合

図2-2 側面固定の場合

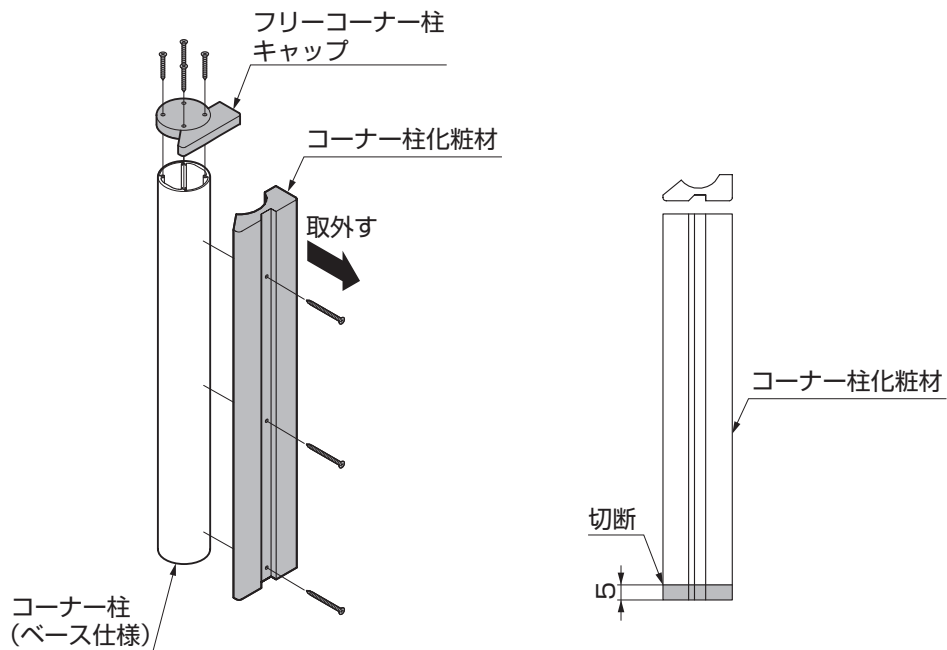
①アルミ主柱（ベース仕様）をベースプレートに【2-1】で取付けてください。

ポイント

- ベースプレートの向きに注意してください。

3. コーナー柱の場合 ※ベース仕様でT-08～T-12の場合

3-1 コーナー柱化粧材の加工 ※ベースプレートカバー オプション を取付ける場合の作業です。



- ①フリーコーナー柱キャップとコーナー柱化粧材をコーナー柱（ベース仕様）から外してください。
- ②コーナー柱化粧材を下部から5mm切断し、再度取付けてください。

3-2 コーナー柱の組立て

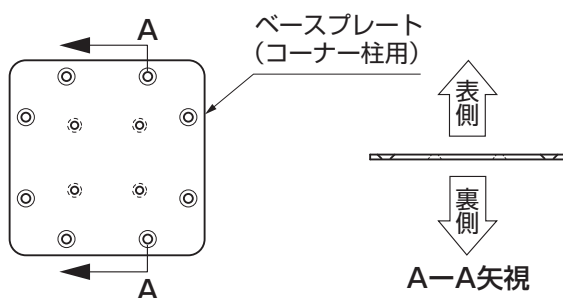


図3-1

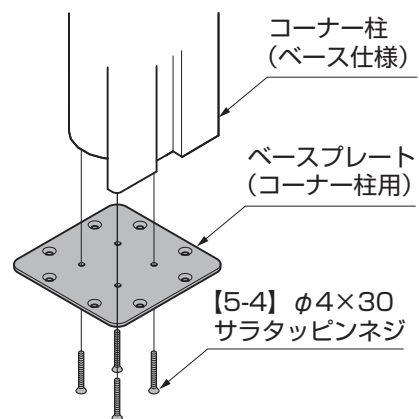


図3-2

ポイント

- 外側のサラ穴が上向きになっている面を上向きにして取付けてください。（図3-1参照）

- ①ベースプレート（コーナー柱用）を、コーナー柱（ベース仕様）に【5-4】で取付けてください。（図3-2参照）

4. 下棧受け部品の取付け

※下棧の組付位置は、所定の高さから変更できません。
 ※横ビームパネルには使用しない作業です。

4-1 ベース仕様の場合

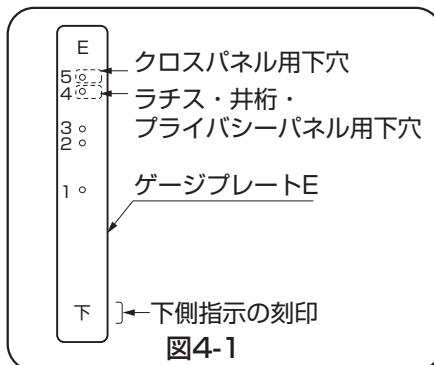


図4-1

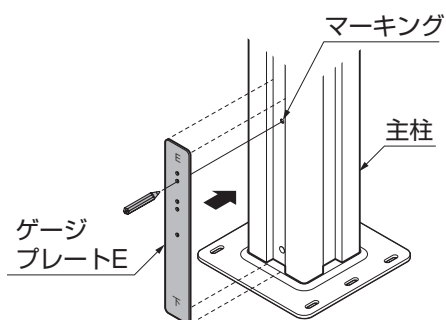


図4-2

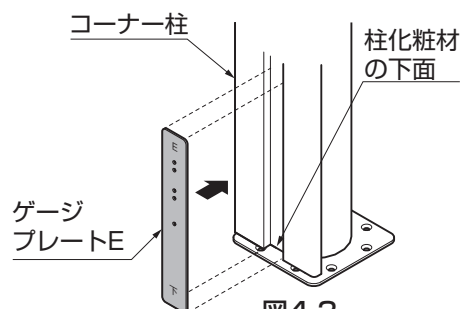


図4-3

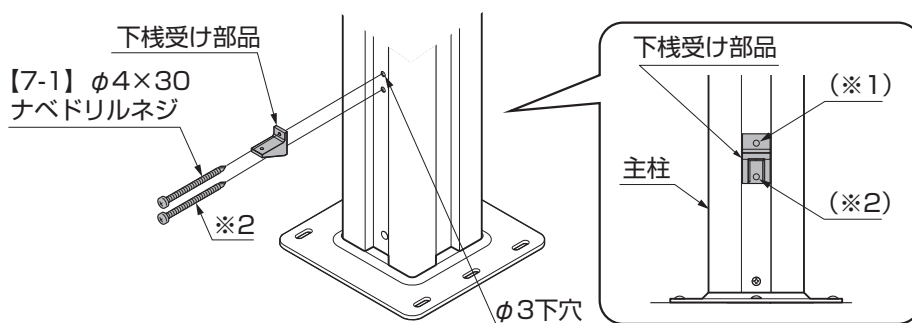


図4-4

ポイント

●ゲージプレートEには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図4-1参照)

- ①主柱はパネルを入れる面の柱底面に、ゲージプレートE下面を合わせ、印をつけてください。(図4-2参照)
- ②コーナー柱は柱化粧材の下面にゲージプレートE下面を合わせてください。(図4-3参照)

ポイント

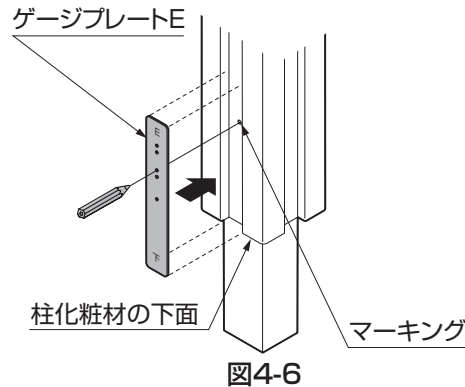
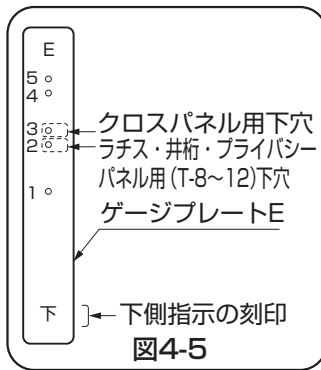
●クロスパネルは5の穴を使用してください。それ以外のパネルは4の穴を使用してください。(図4-1参照)

- ③印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下穴をあけてください。
- ④下棧受け部品の上部の穴(※1)と、支柱溝部にあけた穴を合わせて、【7-1】で下棧受け部品を固定してください。
- ⑤下部の穴も同様に、φ3の下穴をあけて【7-1】で固定してください。(※2)

4. (つづき)

※下棧の組付位置は、所定の高さから変更できません。
 ※横ビームパネルには使用しない作業です。

4-2 埋込仕様 (T-08~T-12) の場合



ポイント

●ゲージプレートEには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図4-5参照)

①パネルを入れる面の柱底面に、ゲージプレートE下面を合わせ、印をつけてください。(図4-6参照)

ポイント

●クロスパネルは3の穴を使用してください。それ以外のパネルは2の穴を使用してください。(図4-5参照)

[7-1] $\phi 4 \times 30$ ナベドリルネジ

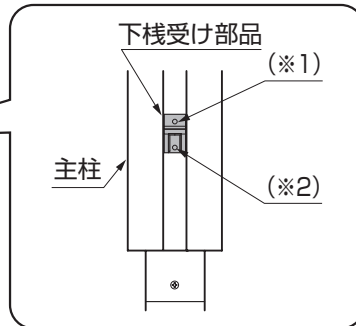
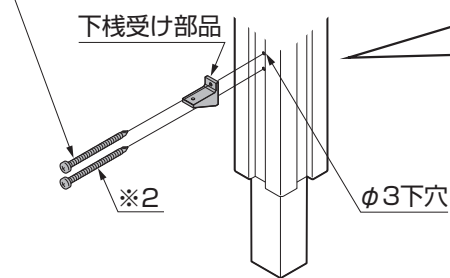
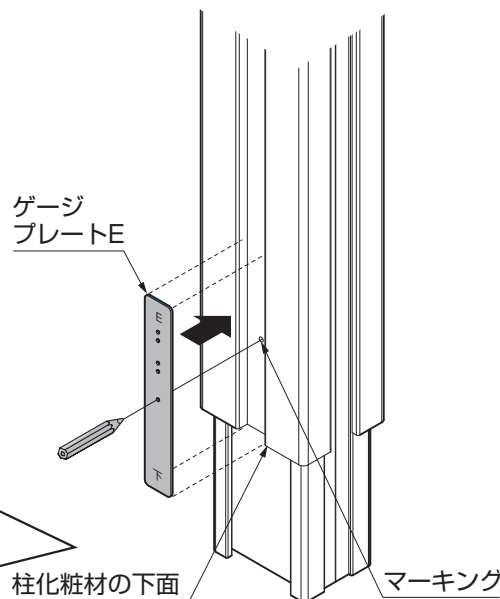
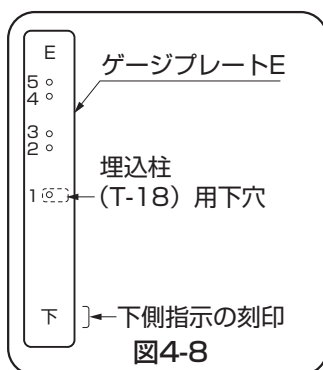


図4-7

②印を付けた支柱溝部のネジ位置に、 $\phi 3$ の下穴をあけてください。
 ③下棧受け部品の上部の穴(※1)と、支柱溝部にあけた穴を合わせて、[7-1]で下棧受け部品を固定してください。
 ④下部の穴も同様に、 $\phi 3$ の下穴をあけて[7-1]で固定してください。(※2)

4-3 埋込仕様 (T-18) の場合



ポイント

●ゲージプレートEには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図4-5参照)

①パネルを入れる側の面の柱の底面にゲージプレートEの下面を合わせ、印をつけてください。(図4-10参照)

②下棧受け部品の取付け方は「4-2 埋込仕様 (T-08~T-12) の場合」を参照してください。

ポイント

●パネルを取付ける側を柱の長辺にしてください。(図4-9参照)

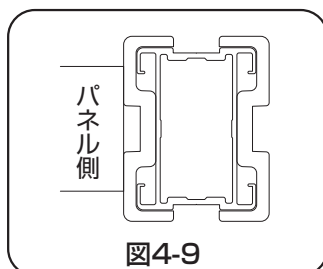


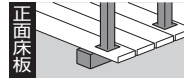
図4-10

5 柱の取付け ※ベース仕様の場合のみ

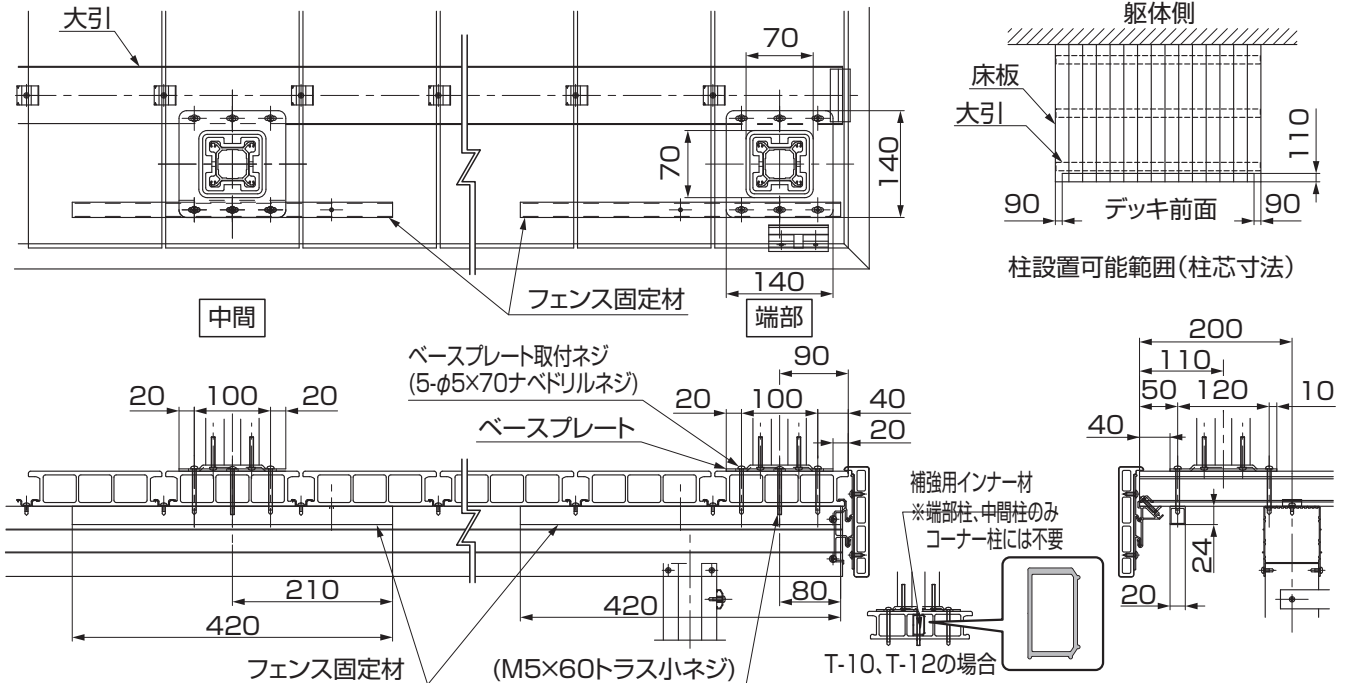
※図は樹ら楽 柱目・プレーンタイプを示します。
 その他デッキも同様の施工となります。
 木彫タイプの場合は追加施工があります。

※開き戸を取付ける場合は、「人工木デッキ 開き戸 取付説明書 (E359)」も併せてご覧ください。

1. 正面床板固定の場合

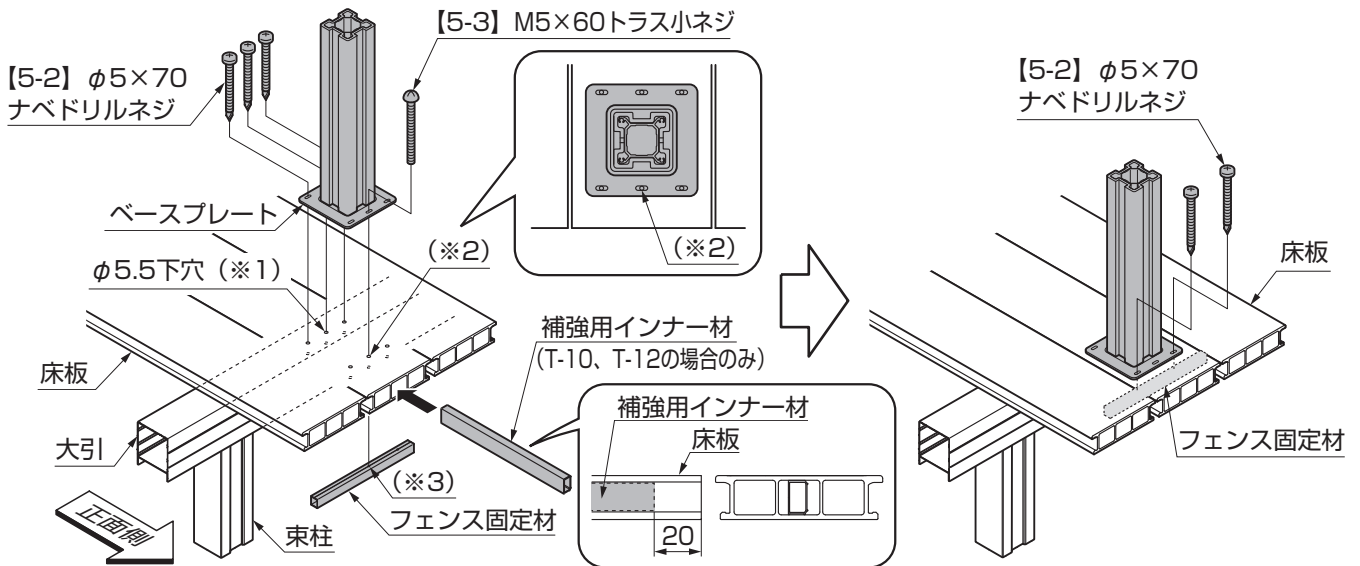


1-1 柱設置位置の確認と位置決め



① 「3 基本寸法と各部の名称 2. 基本寸法図」と上図を参照の上、柱の設置位置を決めてください。

1-2 柱の取付け (T-08~T-12の場合)



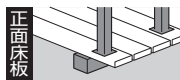
① 補強用インナー材を床板中央のホロー部に差込み、床材端部から20mm内側に取付けてください。(T-10、T-12の場合)

ポイント

- 補強用インナー材はフェンス正面取付け時のみ使用します。
- フェンス取付け位置により補強用インナー材が中央に取付けられない場合は、左右いずれかのホロー部に取付けてください。

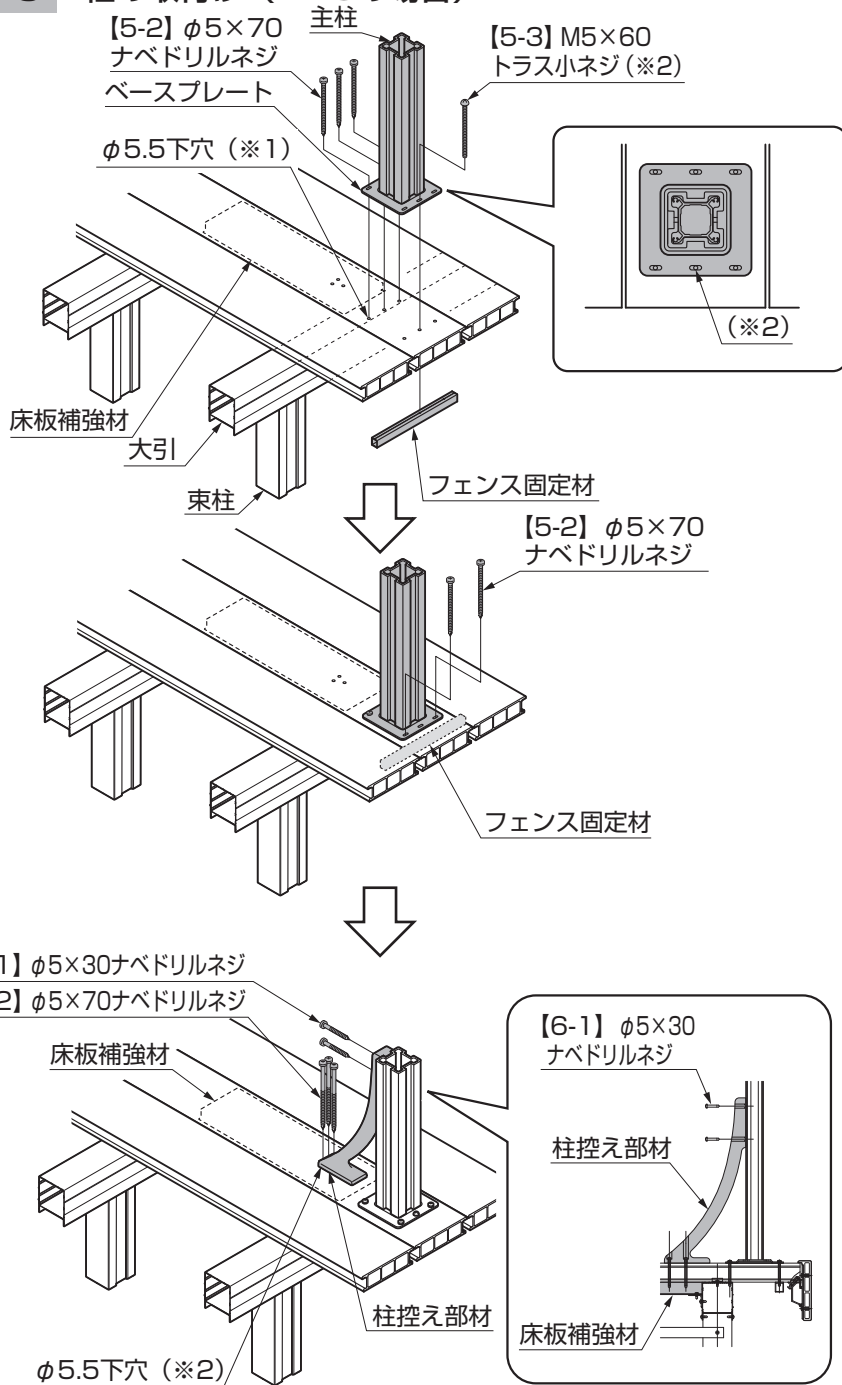
- ② ネジ位置をマーキングし、床板と補強用インナー材に貫通でφ5.5の下穴(※1)をあけてください。
- ③ ベースプレートを床板、大引に【5-2】で取付けてください。
- ④ デッキに加工した下穴の中央(※2)とフェンス固定材の穴(※3)を合わせ、ベースプレートを床板とフェンス固定材に【5-3】で取付けてください。
- ⑤ ベースプレートを床板、フェンス固定材に【5-2】で固定してください。

1. (つづき)



※図は樹ら楽 プレーンタイプを示します。その他デッキも同様の施工となります。
 ※開き戸を取付ける場合は、「人工木デッキ 開き戸 取付説明書 (E359)」も併せてご覧ください。

1-3 柱の取付け (T-18の場合)



ポイント

●デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。

- ①ネジ位置をマーキングし、床板にφ5.5の下穴(※1)をあけてください。
- ②ベースプレートを大引に【5-2】で取付けてください。
- ③ベースプレートをフェンス固定材の中心の穴に【5-3】で取付けてください。(※2)

- ④ベースプレートをフェンス固定材に【5-2】で取付けてください。

- ⑤木彫タイプの場合、P.23の1-4の作業を実施してください。
- ⑥柱控え部材のネジ位置をマーキングし、床板補強材の手前までφ5.5の下穴(※2)をあけてください。

- ⑦柱控え部材を床板補強材に【6-2】で固定してください。
- ⑧柱控え部材を柱に【6-1】で固定してください。

ポイント

●柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

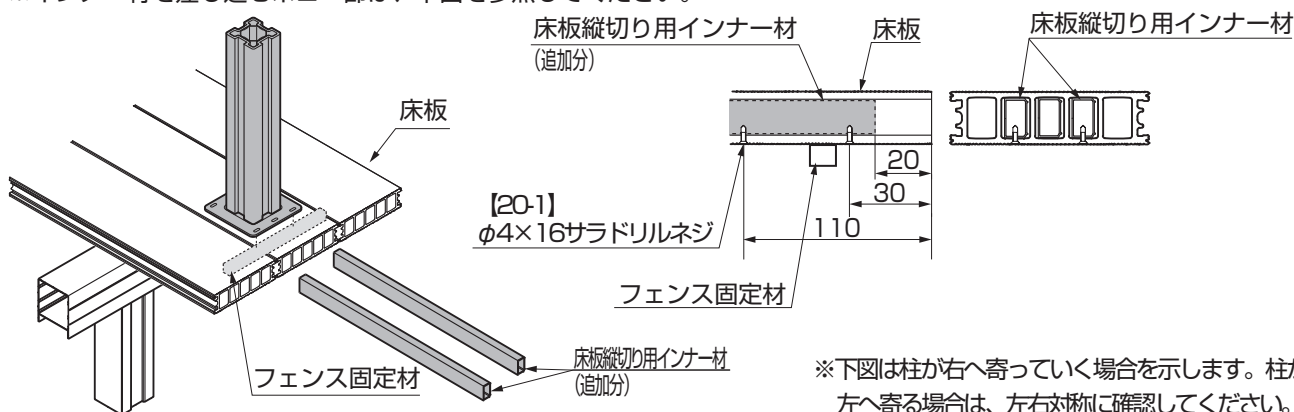
ポイント

- ※木彫タイプの場合
- 柱が1枚の床板に取り付く場合は、正面幕板取付材がその床板には取り付けないようにしてください。
 - 柱が床板2枚にまたぐ場合は、制限はありません。

1. (つづき) ※ベース仕様の木彫タイプの場合のみ

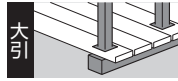
1-4 木彫タイプの追加分のインナー材取付け (T-08~T-18の場合) ※コーナー柱が取付く床板へのインナー材追加は不要です。

- ①追加分の床板縦切り用インナー材(L1800)を二等分します。
- ②追加分の床板縦切り用インナー材を入れるホロー部中央下側から、床板端部30mm、110mmの位置にΦ4.5の下穴とΦ9サラ取り加工をしてください。
- ③柱下の床板ホロー部にインナー材2本を床板端部から20mm内側に差し込み、下側から【20-1】で取付けてください。
※インナー材を差し込むホロー部は、下図を参照してください。

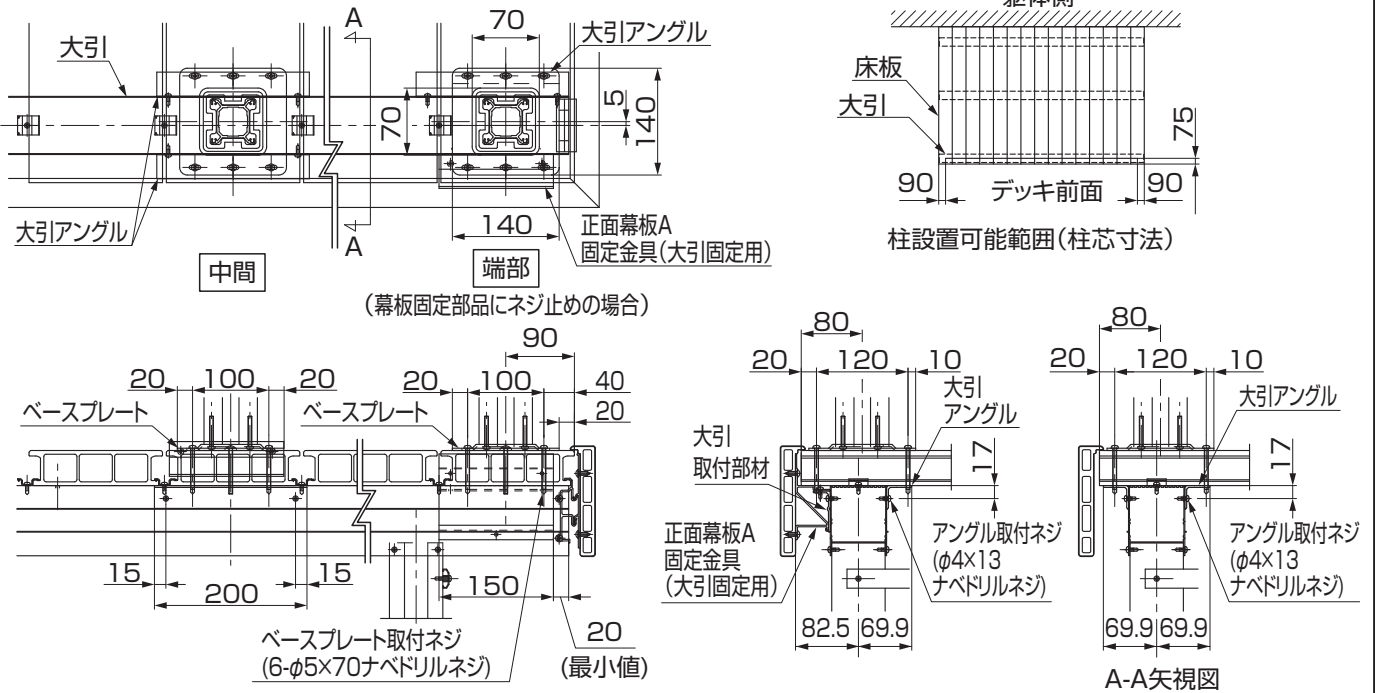


<p>柱が床板中央付近にある場合 (柱が1枚目床板の中央~5mmの範囲で寄った場合)</p>	<p>1本目：1枚目の2番目のホロー 2本目：1枚目の4番目のホロー</p>	
<p>柱が床板の側面に寄っている場合 (柱が1枚目床板の5mm~64mmの範囲で寄った場合)</p>	<p>1本目：1枚目の1番目のホロー 2本目：1枚目の3~5番目の空いているホロー</p>	
<p>ベースプレートが床板2枚に乗っている場合 (柱が1枚目床板の中央より65mm以上寄った場合)</p>	<p>1本目：1枚目の3番目のホロー 2本目：2枚目の3番目のホロー</p>	

2. 正面大引固定の場合



2-1 柱設置位置の確認と位置決め



① 「3 基本寸法と各部の名称 2. 基本寸法図」と上図を参照の上、柱の設置位置を決めてください。

2-2 ベースプレート-大引固定アングルの取付け

※イラストは幕板Aで説明していますが、幕板Bも同じ要領です。

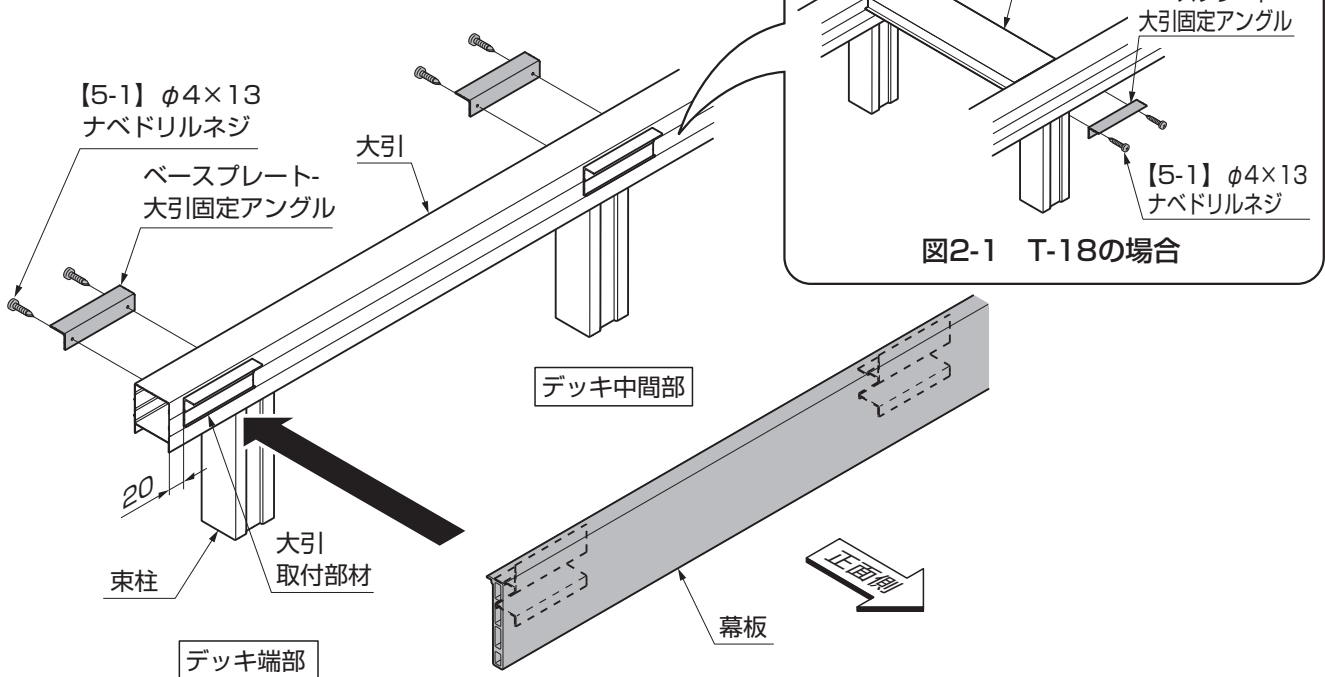


図2-1 T-18の場合

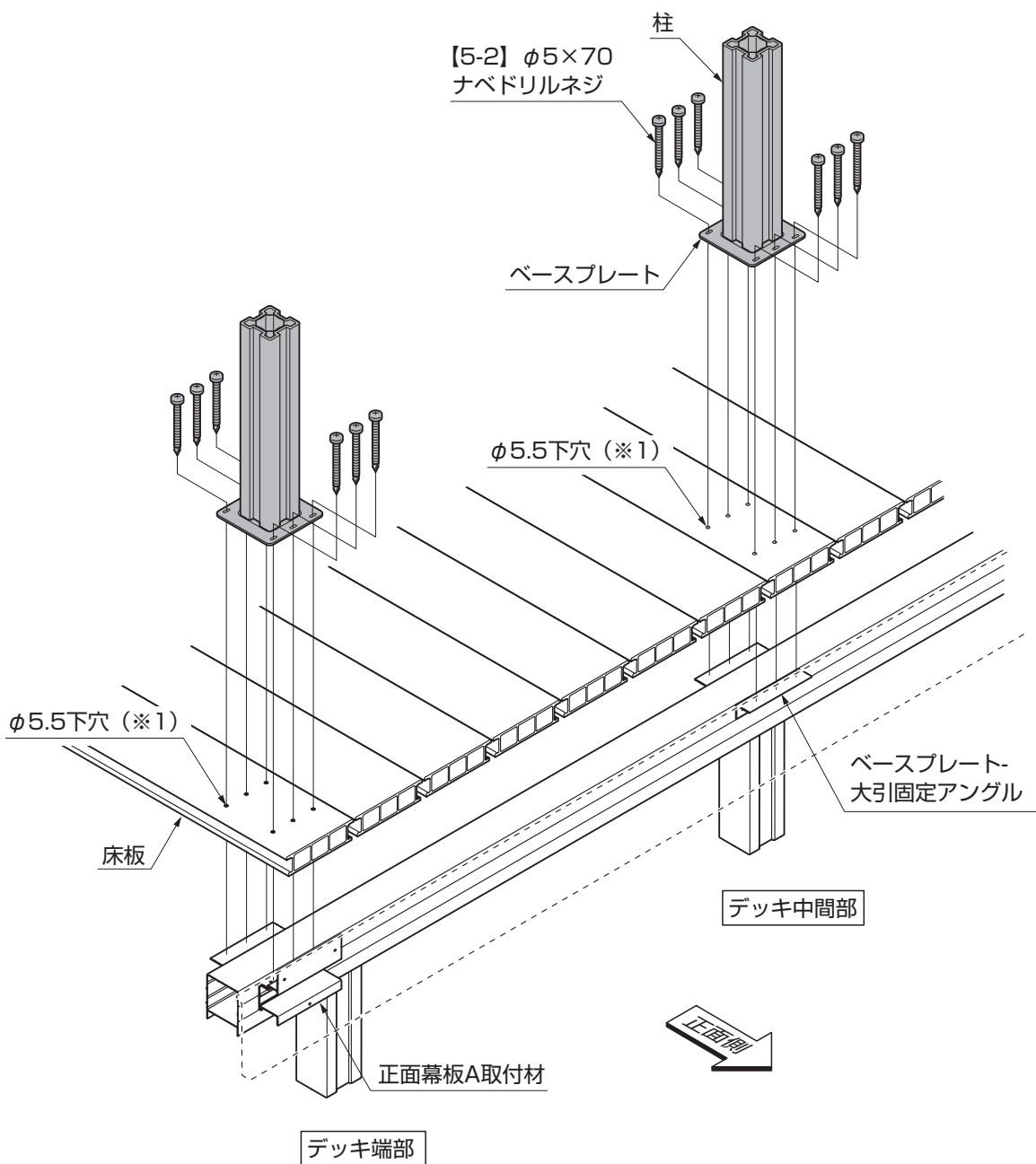
①ベースプレートの取付位置を確認し、大引に【5-1】で取付けてください。

ポイント

●正面幕板の取付け詳細は、「樹ら楽 柱目・プレーンタイプ 取付説明書 (E470)」または「樹ら楽 木彫タイプ・デッキDC 取付説明書 (E423)」を参照してください。

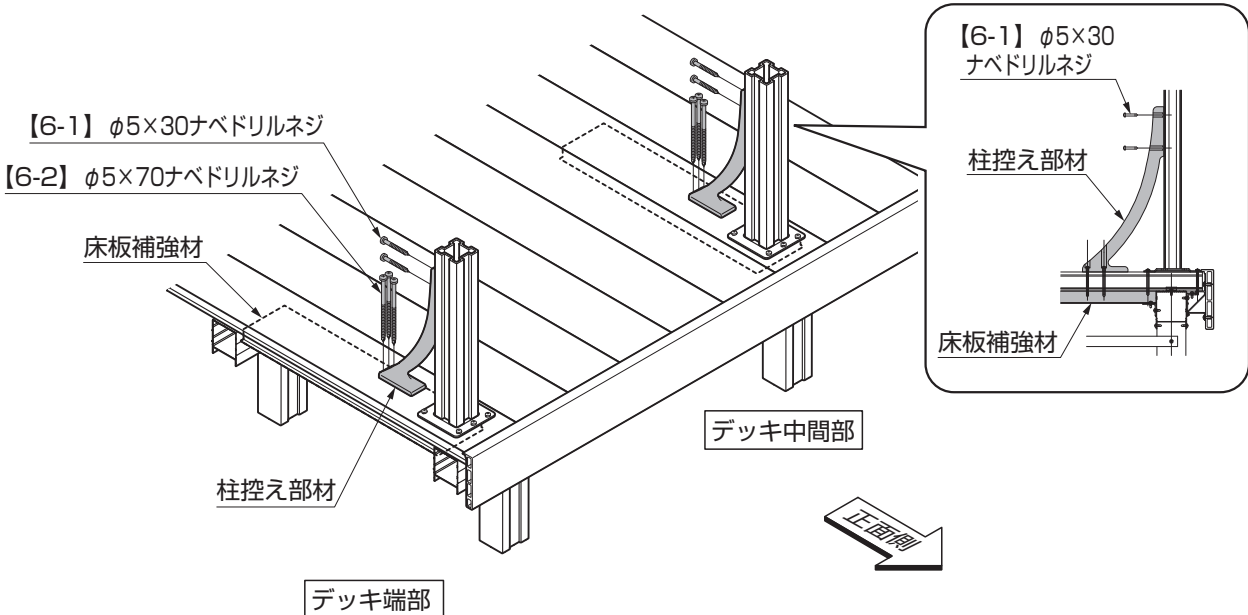
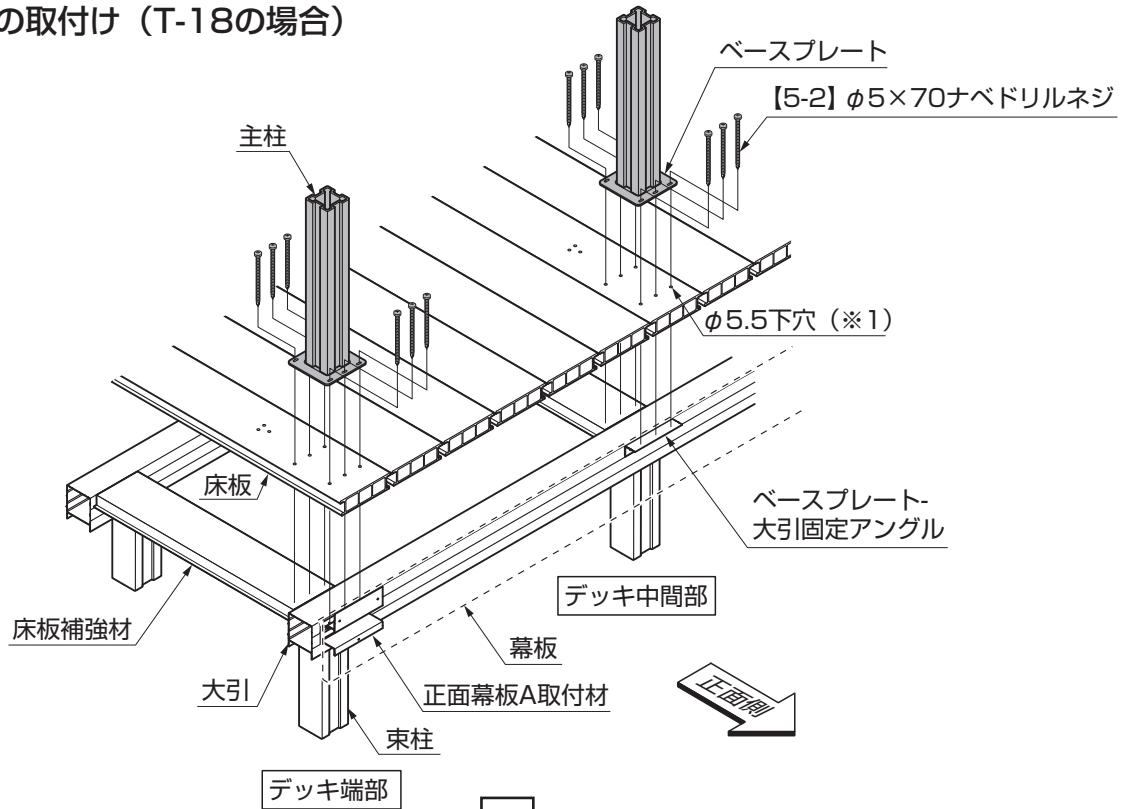
2. (つづき)

2-3 柱の取付け (T-08~T-12の場合)



- ①ネジ位置をマーキングし、床板に $\phi 5.5$ の下穴 (※1) をあけてください。
- ②ベースプレートを床板、正面幕板A取付材、ベースプレート-大引固定アングルに【5-2】で取付けてください。

2-4 柱の取付け (T-18の場合)

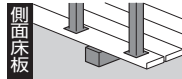


- ①ネジ位置をマーキングし、床板にφ5.5の下穴 (*1) をあけてください。
- ②ベースプレートを正面幕板A取付材、ベースプレート-大引固定アングル、床板補強材に【5-2】で固定してください。
- ③柱控え部材を床板補強材に【6-2】で固定してください。
- ④柱控え部材を柱に【6-1】で固定してください。

ポイント

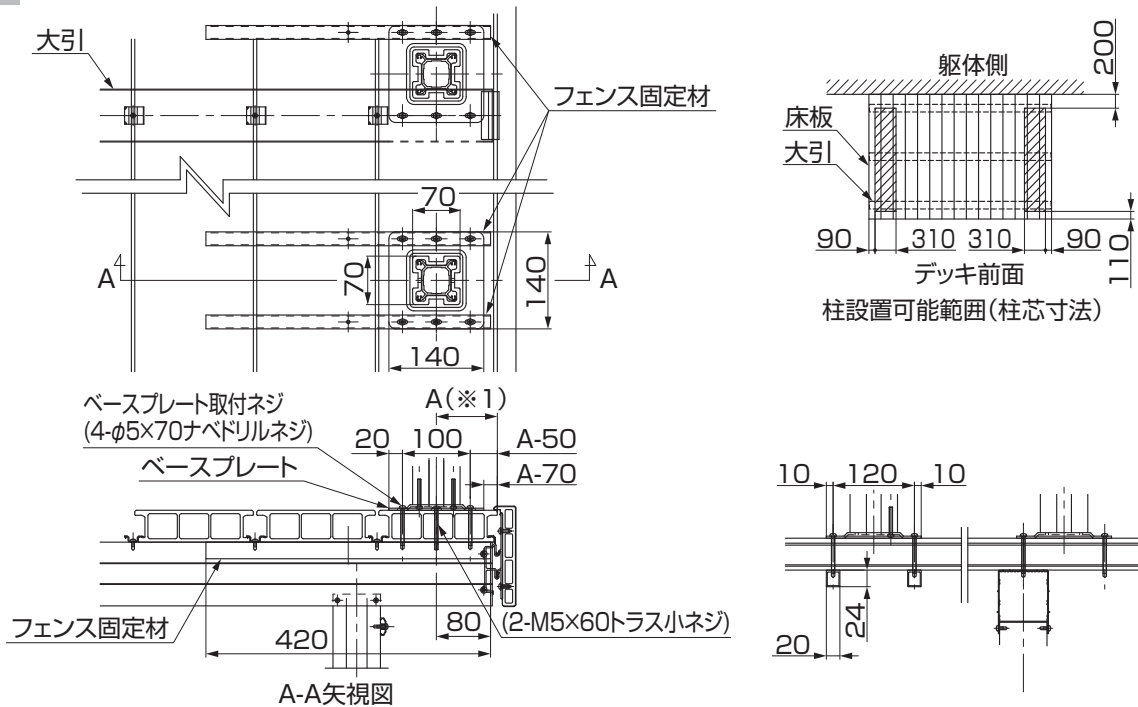
- 柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

3. 側面床板固定の場合



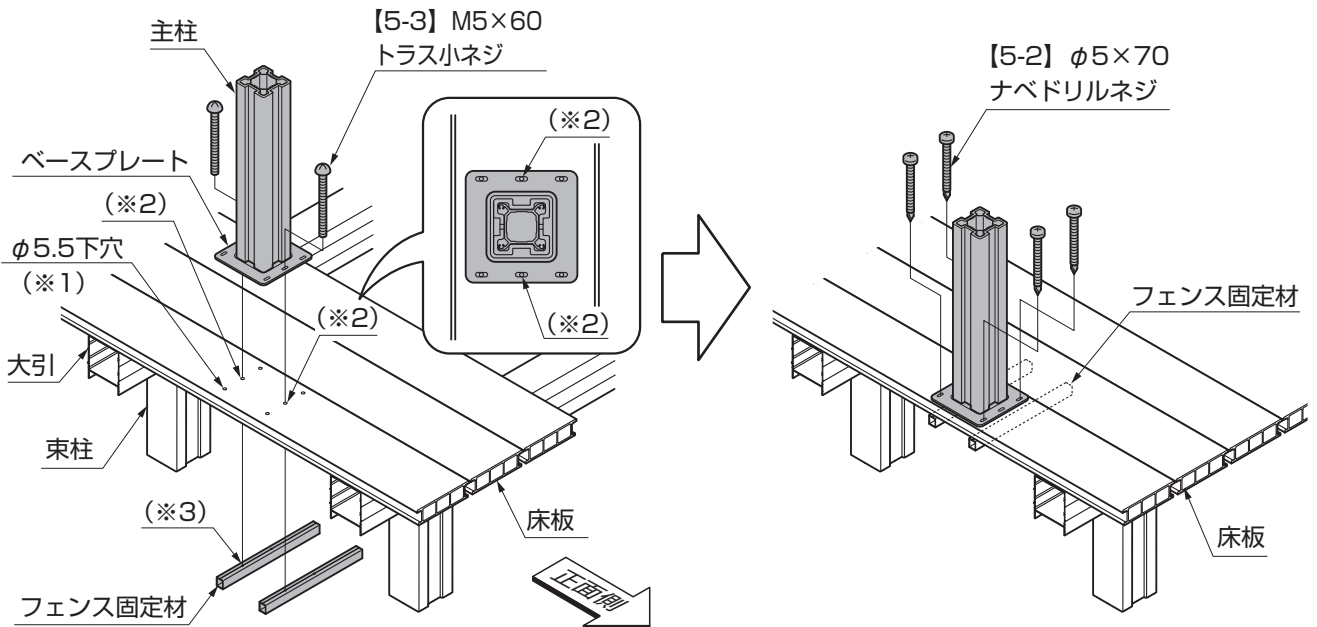
※木彫タイプのT-18は対応していません。
(4-3 側面床板補強材固定で施工をしてください。)

3-1 柱設置位置の確認と位置決め



① 「3 基本寸法と各部の名称 2. 基本寸法図」と上図を参照の上、柱の設置位置を決めてください。

3-2 柱の取付け (T-08~T-12の場合)

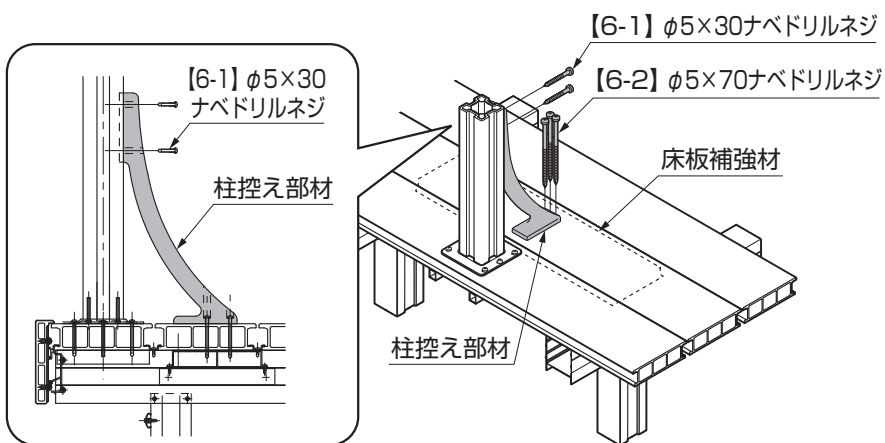
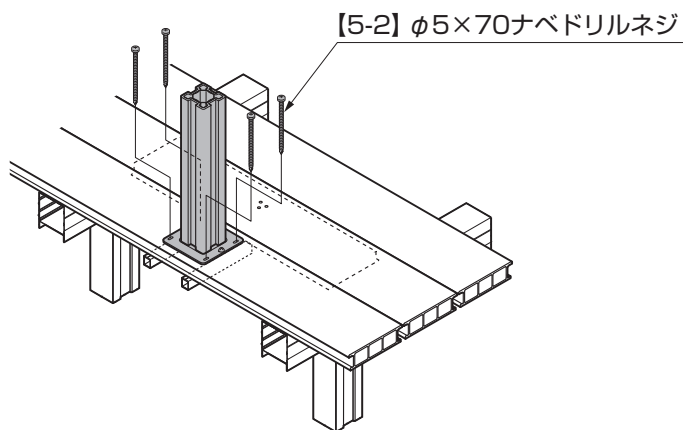
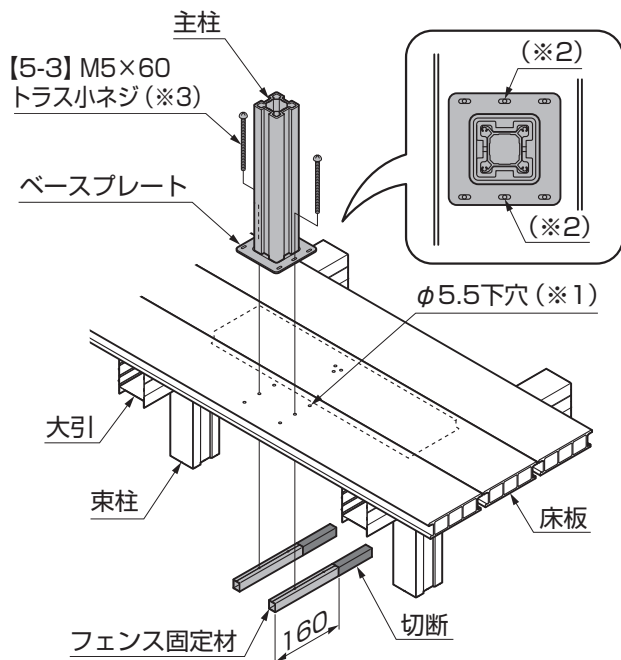


①ネジ位置をマーキングし、床板にφ5.5の下穴(※1)をあけてください。

ポイント

- ベースプレートの片側を大引に固定する場合は、「1. 正面床板固定の場合」を参照してください。
- ②下穴の中央(※2)とフェンス固定材の穴(※3)を合わせ、ベースプレートを床板とフェンス固定材に【5-3】で取付けてください。
- ③ベースプレートを床板、フェンス固定材に【5-2】で固定してください。

3-3 柱の取付け (T-18の場合)



ポイント

●デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。

- ①ネジ位置をマーキングし、床板にφ5.5の下穴(*1)をあけてください。
- ②フェンス固定材を160mmに切断してください。
- ③ベースプレートをフェンス固定材の端部の穴に【5-3】で取付けてください。
(*2)

- ④ベースプレートをフェンス固定材に【5-2】で取付けてください。

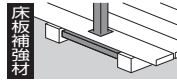
- ⑤柱控え部材を床板補強材に【6-2】で取付けてください。

- ⑥柱控え部材を柱に【6-1】で固定してください。

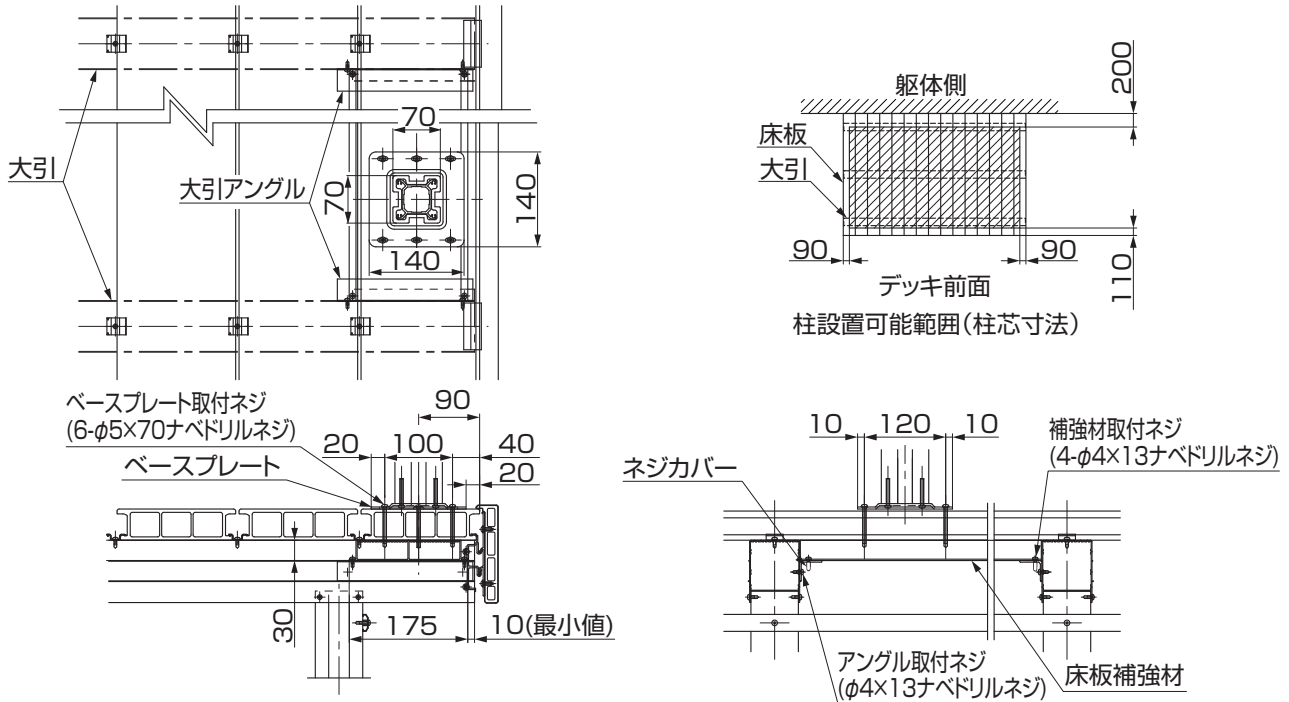
ポイント

●柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

4. 側面床板補強材固定の場合

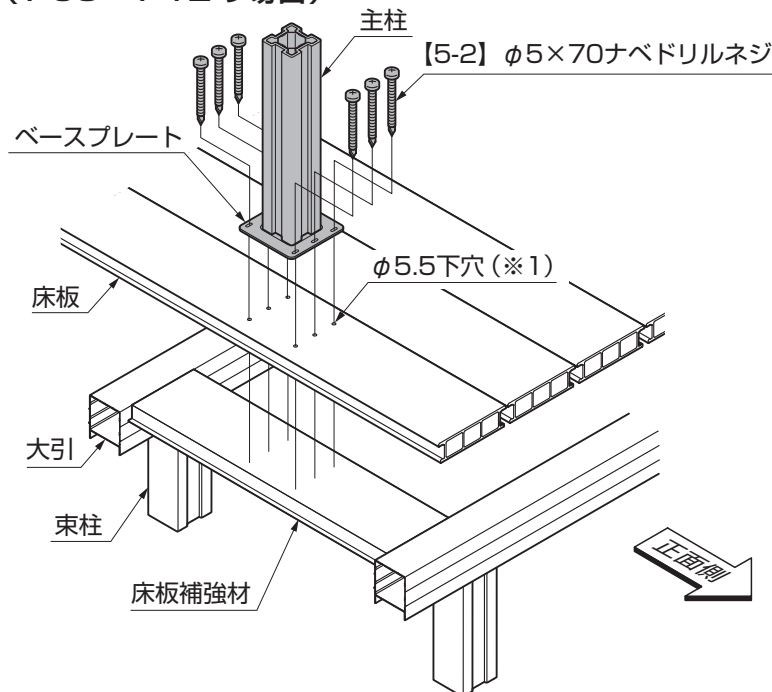


4-1 柱取付位置の確認



① 「3 基本寸法と各部の名称 2. 基本寸法図」と上図を参照の上、柱の設置位置を決めてください。

4-2 柱の取付け (T-08~T-12の場合)

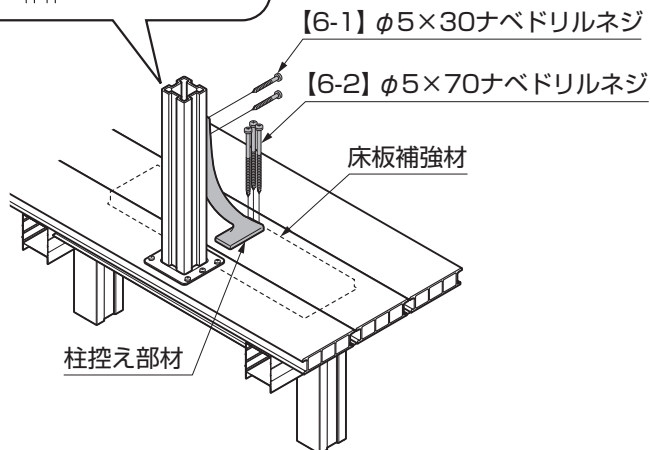
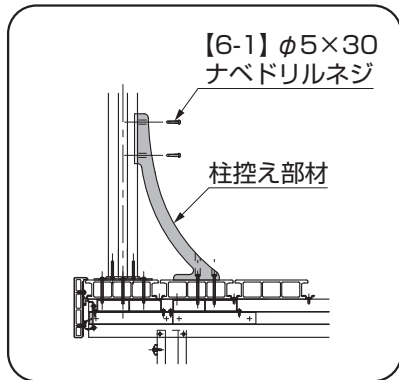
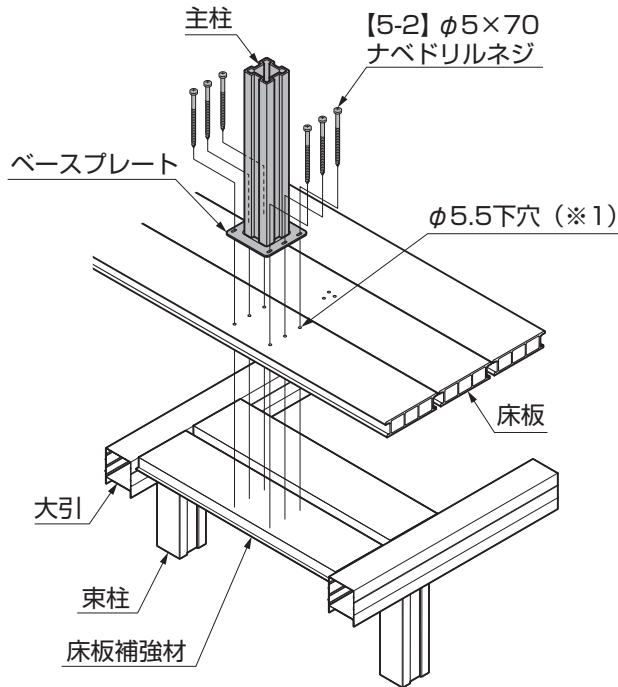


ポイント

- デッキ施工前に補強材を取付けてください。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。
- 床板補強材の取付け詳細は、「樹ら楽 柱目・プレーンタイプ 取付説明書 (E470)」または「樹ら楽 木彫タイプ・デッキDC 取付説明書 (E423)」を参照してください。

- ①ネジ位置をマーキングし、床板にφ5.5の下穴(※1)をあけてください。
- ②ベースプレートを床板と床板補強材に【5-2】で取付けてください。

4-3 柱の取付け (T-18の場合)



①ネジ位置をマーキングし、床板にφ5.5の下穴(※1)をあけてください。

②ベースプレートを床板補強材に【5-2】で取付けてください。

ポイント

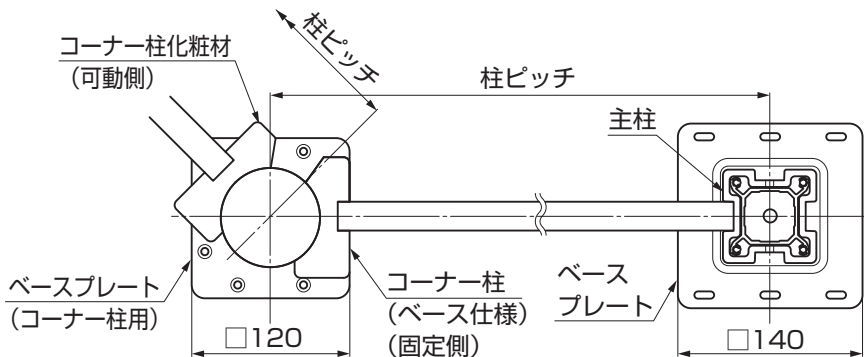
- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- 柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

③柱控え部材を床板補強材に【6-2】で取付けてください。

④柱控え部材を柱に【6-1】で固定してください。

6 コーナー柱の取付け

1-1 柱設置位置の確認と位置決め（ベース仕様でT-08～T-12の場合）

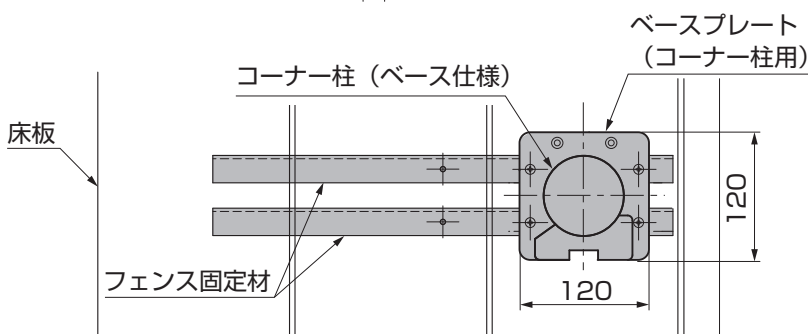
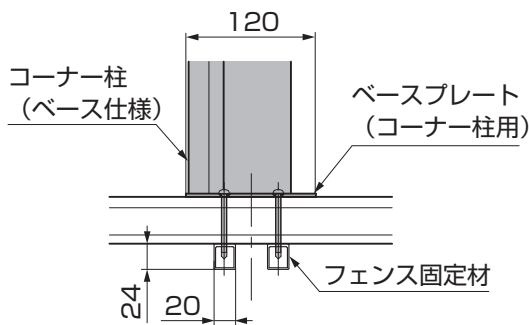
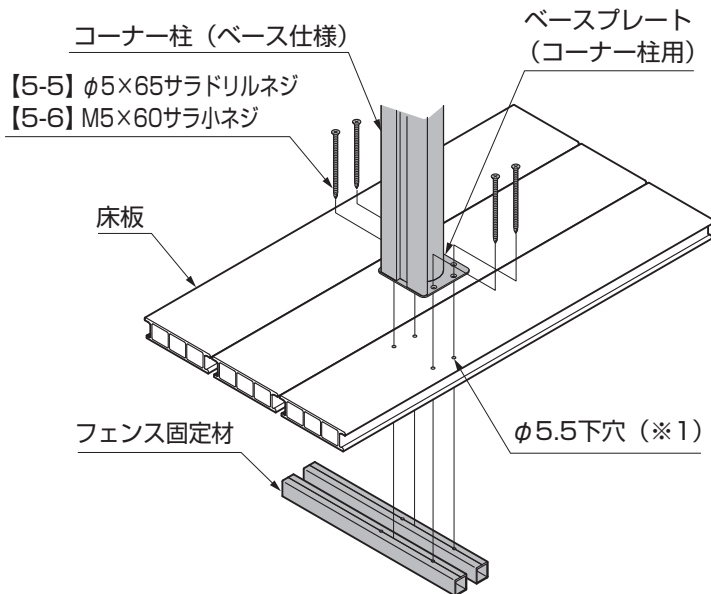


①主柱のベースプレートと、コーナー柱のベースプレート（コーナー柱用）が芯一芯でならぶように配置し、柱の固定位置を決めてください。

補足

- コーナー柱を使用する場合は、「2 施工時の重要注意事項」を参照してください。

1-2 コーナー柱の取付け（ベース仕様でT-08～T-12の場合）



ポイント

- ベースプレート（コーナー柱用）は【5-5】、【5-6】で合計4ヶ所以上固定してください。

- ①ネジ位置をマーキングしてください。
- ②マーキングした床板にφ5.5下穴をあけてください。（※1）
- ③フェンス固定材の位置を合わせて【5-5】、【5-6】でベースプレートを固定してください。

補足

- 柱一柱間のピッチは、下枠を仮置きするなどの方法で、正しく計測してください。
- コーナー柱の対応角は180°～90°です。
- フェンス固定材の位置は納まりにより異なります。

1-3 コーナー柱化粧材の取付け（ベース仕様でT-08～T-12の場合と埋込仕様の場合）

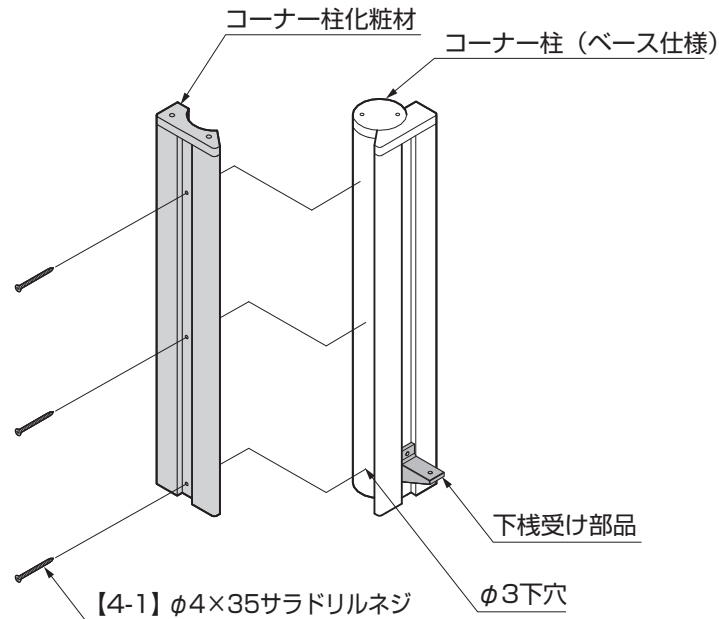


図1-1

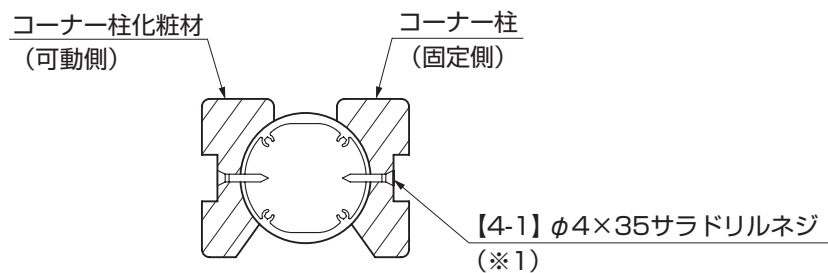


図1-2

補足

- ベースプレートカバーを取付ける場合は「4. 柱の事前準備 3. コーナー柱の場合」を参照して、コーナー柱化粧材を加工してください。（ベース仕様の場合）
- 柱一柱間のピッチは下棧を仮置きするなどの方法で、正しく計測してください。
- コーナー柱の対応角は180°～90°です。

- ①コーナー柱化粧材を任意の角度に合わせ、コーナー柱にφ3の下穴をあけて、【4-1】で固定してください。
- ②コーナー柱化粧材を組付けた後、下棧受け部品を組付けてください。
- ③コーナー柱（ベース仕様）の下棧受け部品の取付け方は「4. 柱の事前準備 4. 下棧受け部品の取付け 4-1 ベース仕様の場合」を参照してください。コーナー柱（埋込仕様）の下棧受け部品の取付け方は「4. 柱の事前準備 4. 下棧受け部品の取付け 4-2 埋込仕様の場合」を参照してください。

ポイント

- ネジを締込みすぎてコーナー柱化粧材を突き抜かないように注意してください。（※1）

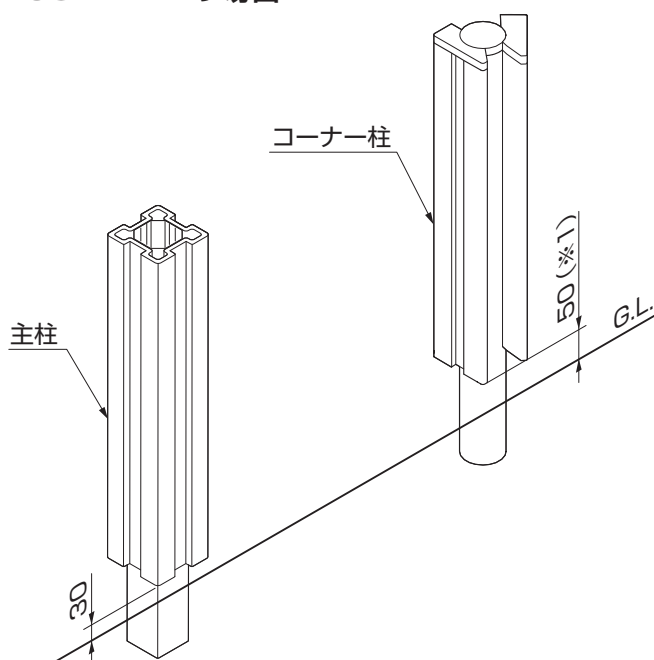
補足

- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが異なるので注意してください。「2 施工時の重要注意事項」を参照してください。

7 柱の埋込み ※埋込仕様の場合

※開き戸を取付ける場合は、「人工木デッキ 開き戸 取付説明書 (E359)」も併せてご覧ください。

1-1 T-08～T-12の場合



①主柱、コーナー柱を「3 基本寸法と各部の名称 2. 基本寸法図」を参照して埋込んでください。

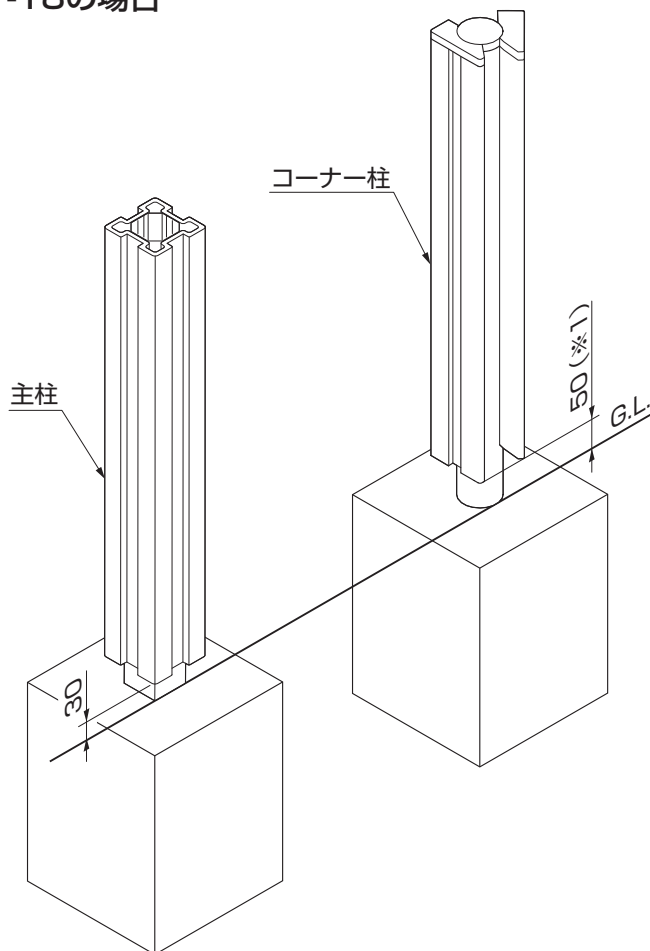
ポイント

- コーナー柱部は50となります。(※1)

補足

- 各柱の芯-芯を合わせ、指定寸法以内のピッチで正しく施工してください。
- コーナー柱の対応角は180°～90°になります。

1-2 T-18の場合



①主柱、コーナー柱を「3 基本寸法と各部の名称 2. 基本寸法図」を参照して埋込んでください。

ポイント

- コーナー柱部は50となります。(※1)

補足

- 各柱の芯-芯を合わせ、指定寸法以内のピッチで正しく施工してください。
- コーナー柱の対応角は180°～90°になります。

8 パネルの事前準備

1. パネルの切詰め

1-1 パネルの切詰め（フラットラチスパネル、井桁格子パネル）

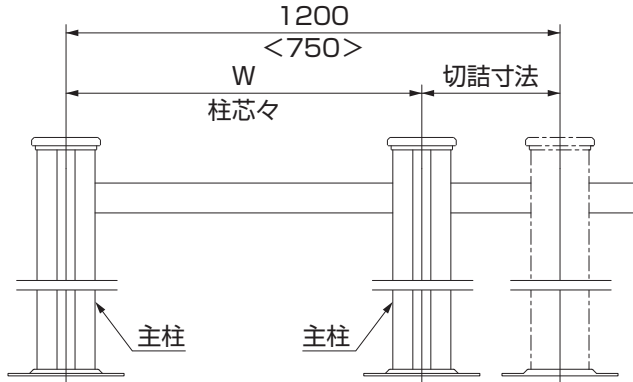


図1-1

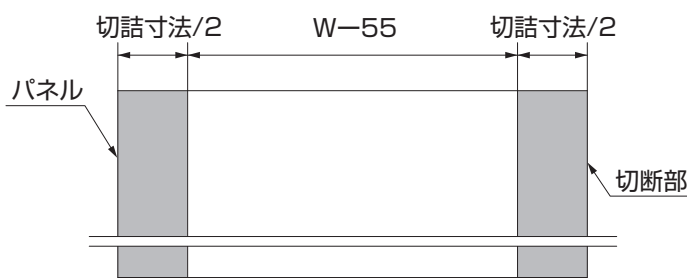


図1-2

- ①切詰める寸法の柱ピッチを実測してください。
- ②パネルを「W-55mm」になるよう両端から同ピッチで切断してください。

ポイント

- 井桁格子パネルの切詰は以下の通りに行ってください。
 - ・ W1200 : 138mmピッチ
 - ・ W750 : 両端120mm
両端以外138mmピッチ

1-2 横ビームパネルの切詰め

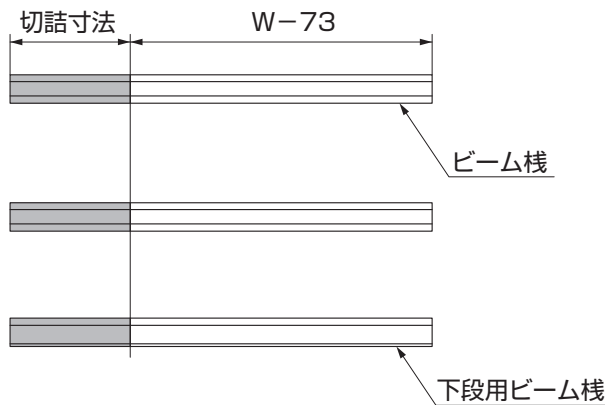
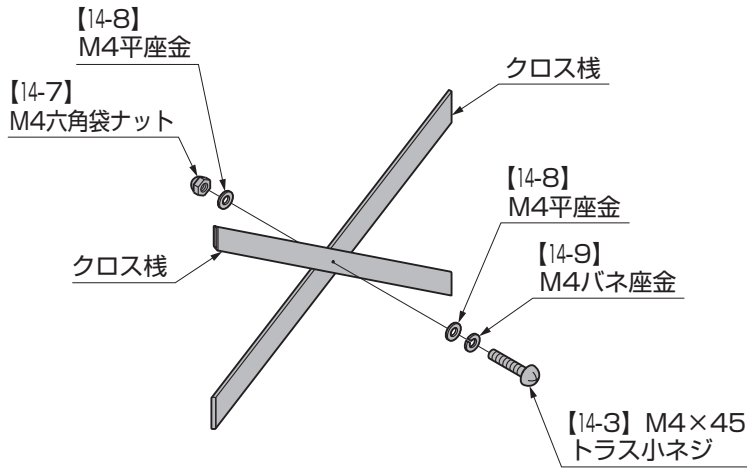


図1-3

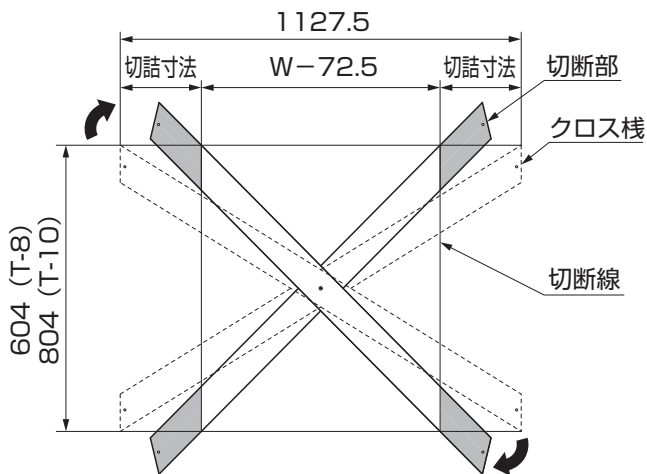
- ①ビーム棧と下段用ビーム棧を「W-73mm」に切断してください。

1. (つづき)

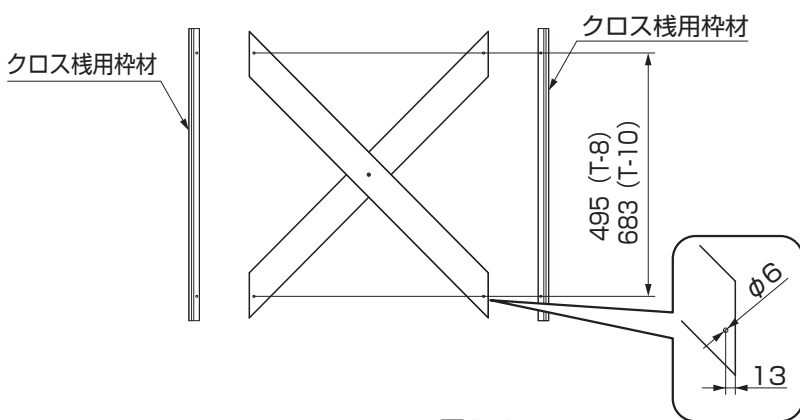
1-3 クロスパネルの切詰め



① クロス棧の中心に【14-3】、【14-7】、【14-8】、【14-9】を仮止めしてください。



② クロス棧を「W-72.5mm」になるよう両端から同ピッチで切断してください。

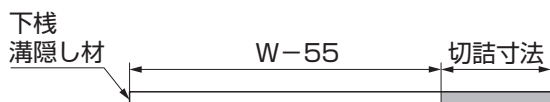


③ クロス棧に、φ6の穴をあけてください。(図1-4参照)

④ 下棧溝隠し材を「W-55mm」に切断してください。

⑤ 加工後、仮止めした【14-3】、【14-7】、【14-8】

図1-4



1-4 ポリカパネルの切詰め (プライバシーパネル)

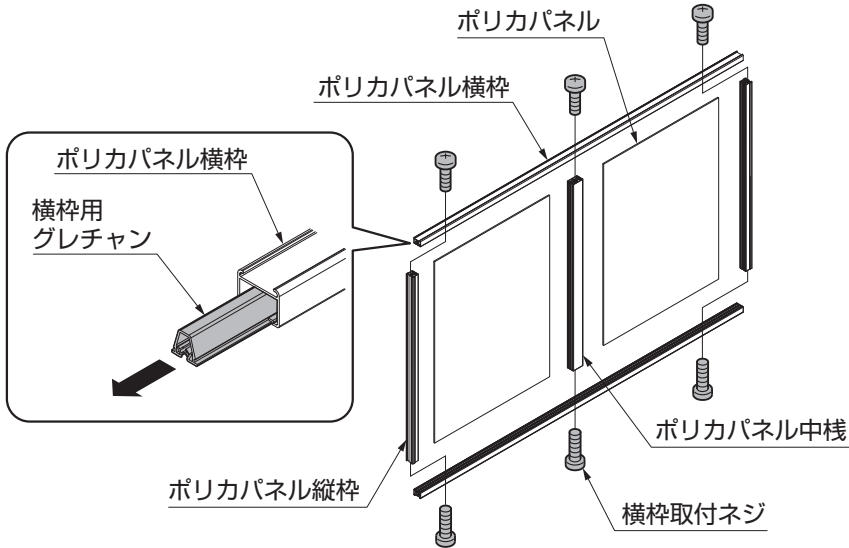


図1-5

- ①ポリカパネルを分解してください。
- ②ポリカパネル横枠から横枠用グレチャンを取出してください。(図1-5参照)

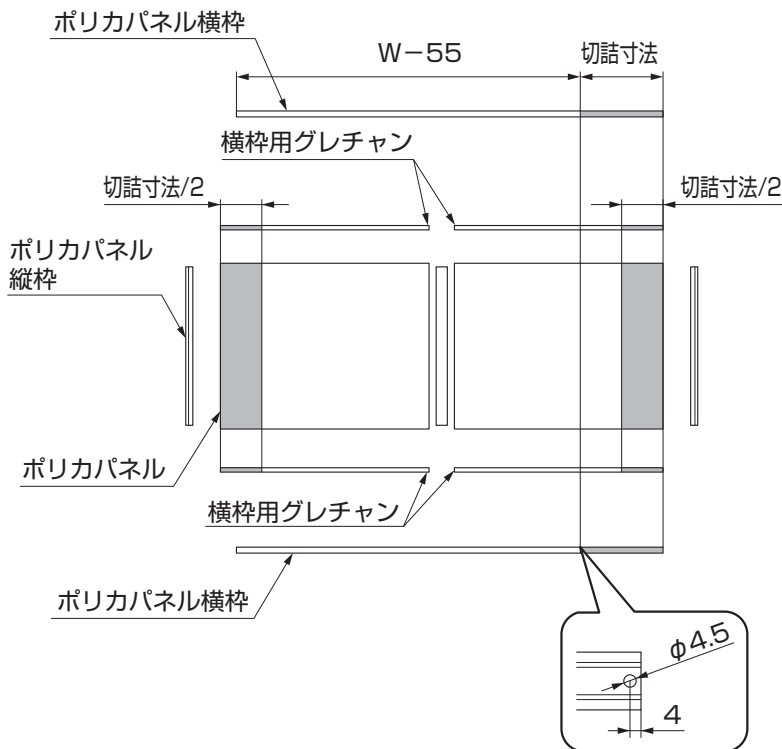


図1-6

- ③ポリカパネル横枠を両端から同ピッチで切断してください。
- ④横枠用グレチャン、ポリカパネルを両端から同ピッチで切断してください。
- ⑤ポリカパネル横枠に切断した側から4mmのところから $\phi 4.5$ の穴をあけてください。(図1-6参照)
- ⑥加工後、再度組立ててください。

2. 上栈の切詰め

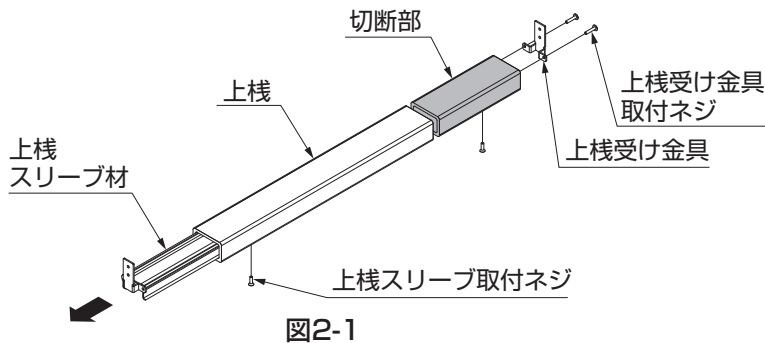


図2-1

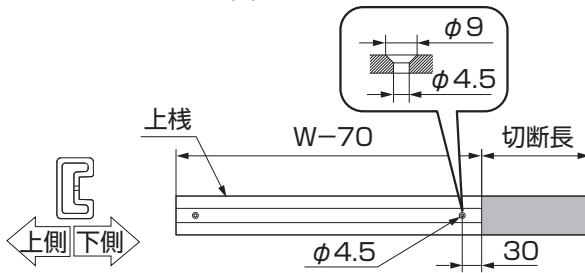


図2-2

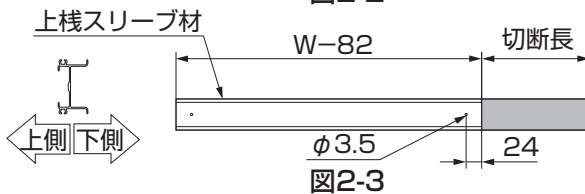


図2-3

- ①上栈受け金具をはずしてください。
- ②上栈スリーブ取付ネジをはずして、上栈スリーブ材を取り出してください。
- ③上栈を「W-70mm」、上栈スリーブ材を「W-82mm」に切断してください。

ポイント

●上栈と上栈スリーブ材の下側から穴をあける際、上側まで貫通しないでください。

- ④上栈を切断した側から30mmのところ、 $\phi 4.5$ の下穴と $\phi 9$ サヲ取り加工してください。(図2-2参照)
- ⑤上栈スリーブ材を切断した側から24mmのところ、 $\phi 3.5$ の下穴をあけてください。(図2-3参照)
- ⑥加工後、再度組立ててください。

3. 中栈の切詰め ※2段フェンス仕様の場合の作業です。

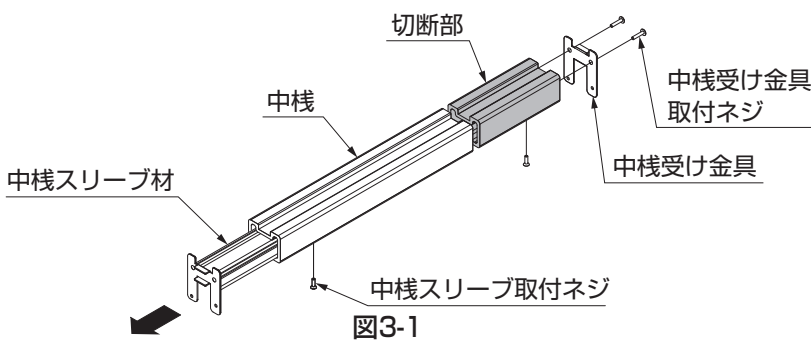


図3-1

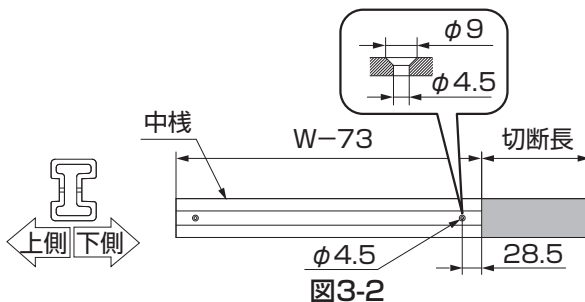


図3-2

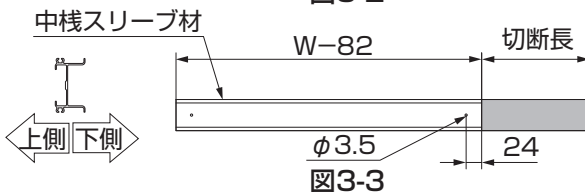


図3-3

- ①中栈受け金具をはずしてください。
- ②中栈スリーブ取付ネジをはずして、中栈スリーブ材を取り出してください。
- ③中栈を「W-73mm」、中栈スリーブ材を「W-82mm」に切断してください。

ポイント

●中栈と中栈スリーブ材の下側から穴をあける際、上側まで貫通しないでください。

- ④中栈を切断した側から28.5mmのところ、 $\phi 4.5$ の下穴と $\phi 9$ サヲ取り加工してください。(図3-2参照)
- ⑤中栈スリーブ材を切断した側から24mmのところ、 $\phi 3.5$ の下穴をあけてください。(図3-3参照)
- ⑥加工後、再度組立ててください。

4. 下棧の切詰め ※横ビームパネルには行なわない作業です。

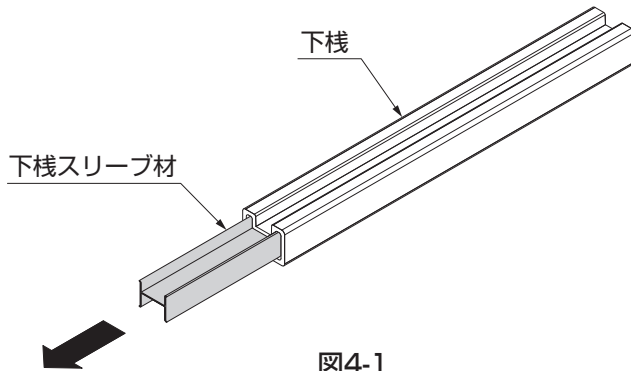


図4-1

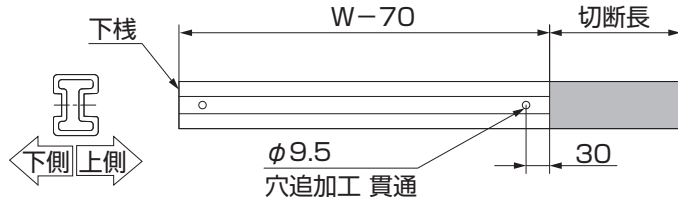


図4-2

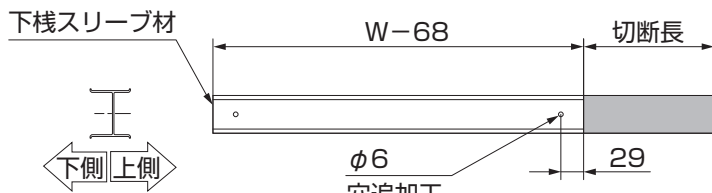


図4-3

- ①下棧スリーブ材を取り出してください。
- ②下棧を「W-70mm」、下棧スリーブ材を「W-68mm」に切断してください。

ポイント

- 下棧と下棧スリーブ材の穴は上側から下側まで貫通してあげてください。
- ③下棧を切断した側から30mmでφ9.5の下穴を貫通してあげてください。
(図4-2参照)
 - ④下棧スリーブ材を切断した側から29mmのところφ6の下穴をあけてください。
(図4-3参照)
 - ⑤加工後、再度組立ててください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

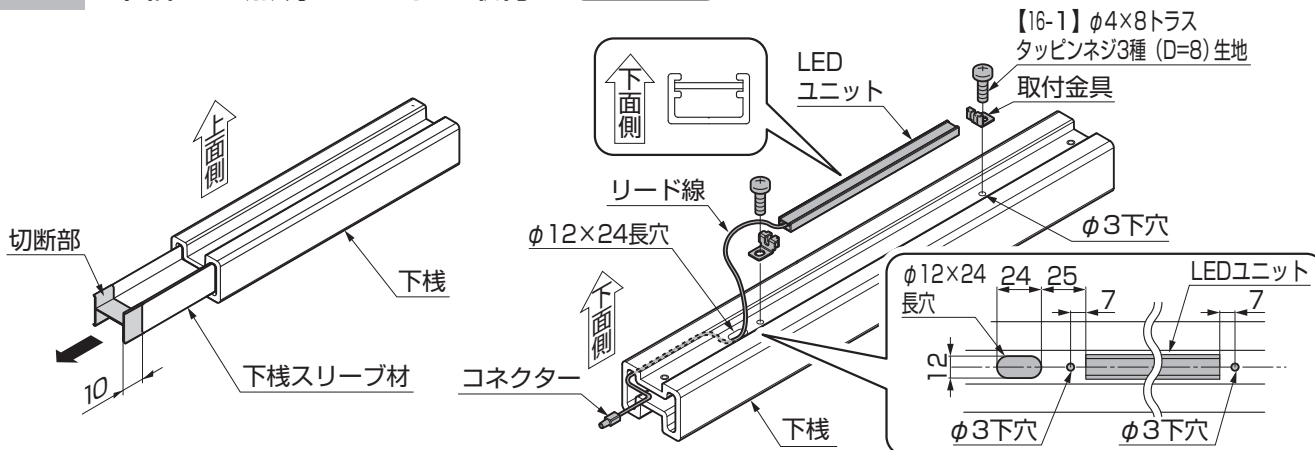
.....

.....

9 パネルの取付け

1. 下棧の取付け ※横ビームパネルには行なわない作業です。

1-1 下棧LED照明ユニットの取付け **オプション** ※クロスパネルは対応していません。

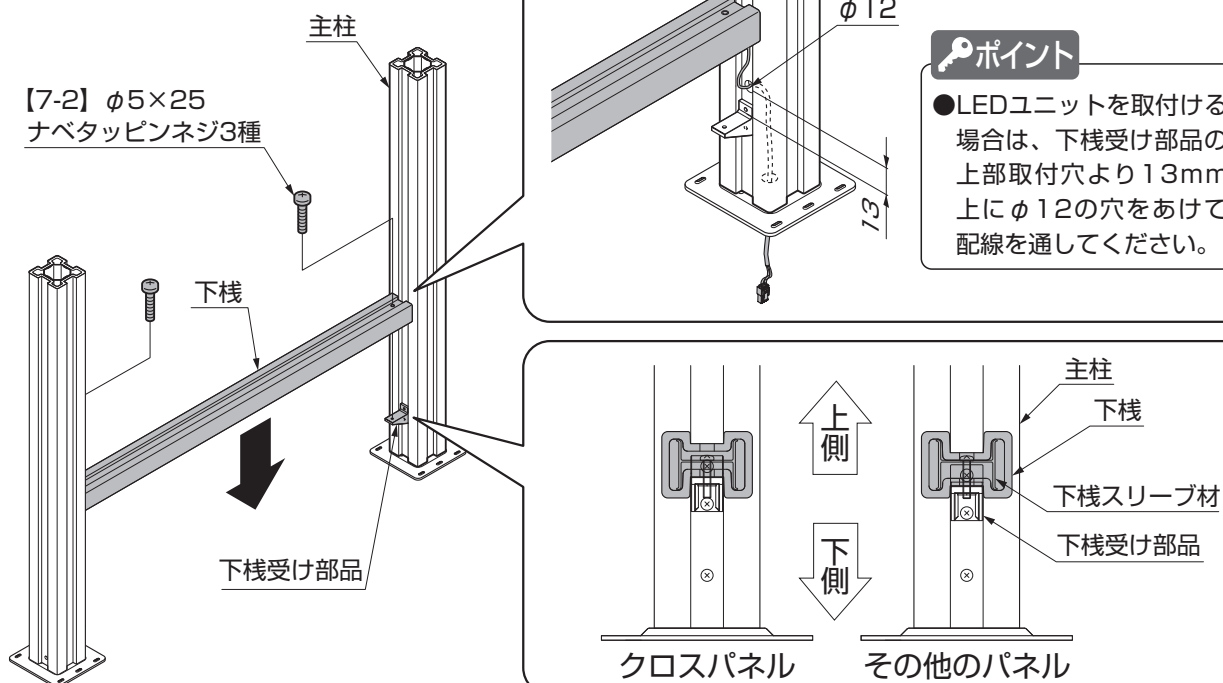


- ①下棧スリーブ材を抜き取り、配線を通す側のスリーブ材の端部を切断してください。
- ②LEDユニットを取付ける位置を確認して、下棧の溝に $\phi 12 \times 24$ 長穴と取付金具固定用の $\phi 3$ 下穴をあけてください。
- ③LEDユニットのリード線と渡り配線は、コネクターでジョイントしてから下棧に通してください。
- ④LEDユニットを下棧に取付金具で固定してください。

ポイント

- 下棧スリーブ材を下棧に差し込む際、配線に引っかかって、傷付くおそれがあります。強く入れずに慎重に差し込んでください。

1-2 下棧の取付け



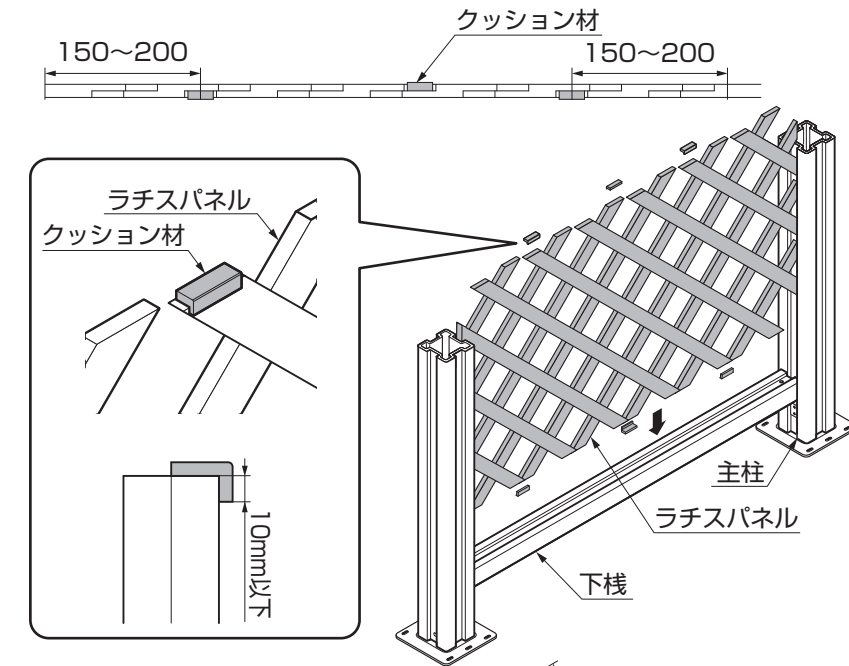
- ①下棧を下棧受け部品に【7-2】で取付けてください。

ポイント

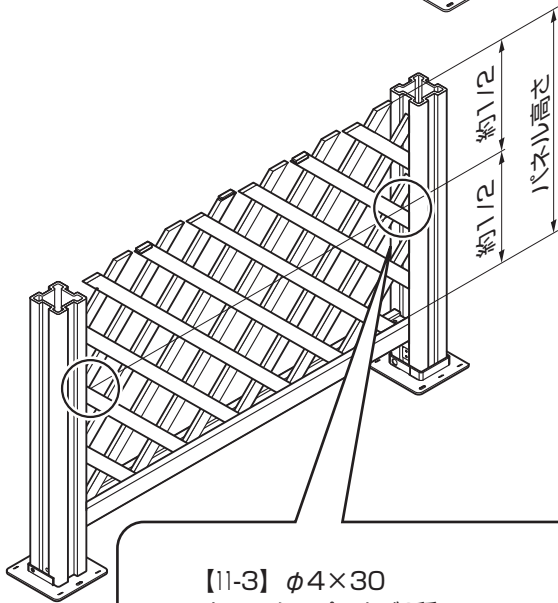
- 下棧はパネルの種類によって上下が異なります。
- LEDユニットを取付ける場合は、予めベースプレートが取付く面の床板に $\phi 12$ の貫通穴をあけてください。
- 配線方法などの詳細は「トランス電源ユニット」の取付説明書を参照してください。

2. パネルの取付け

2-1 ラチスパネルの取付け



- ①クッション材をラチスパネルに貼り付けてください。
- ②主柱と下棧の溝に、ラチスパネルを挿入してください。



ポイント

- T-18の場合は、ラチスパネルをラチス棧固定金具で固定してください。
- パネル幅の切詰めの有無でラチス棧固定金具の取付位置が異なります。
- 取付位置はパネル高さの中央に最も近い交点に取付けます。

補足

- ラチスパネル棧を固定する位置により、使用するネジ長が異なります。
- ラチス棧固定金具の高さは一致しません。

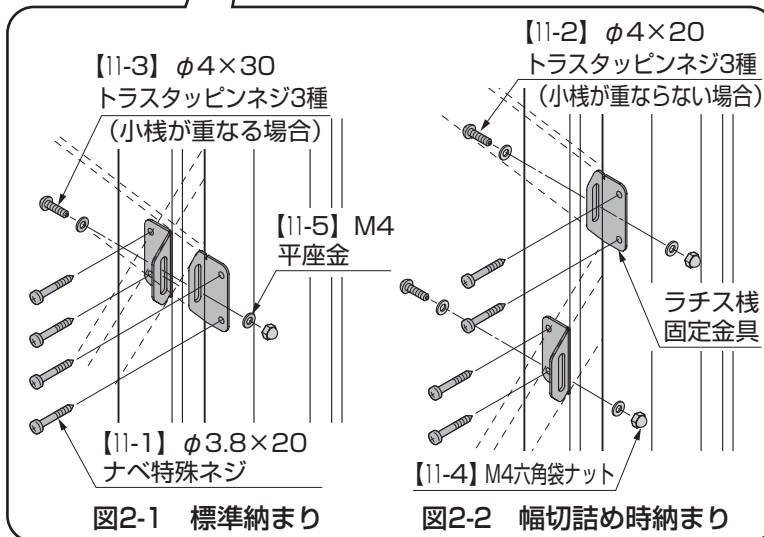


図2-3 T-18の場合

- ③ラチス棧固定金具をラチスパネル棧に位置を合わせて、主柱にφ2.5の取付用下穴をあけてください。
- ④ラチス棧固定金具を主柱に、【11-1】で固定してください。
- ⑤ラチス棧固定金具の長穴部よりラチスパネルに、φ4.5の貫通穴をあけてください。
- ⑥ラチス棧固定金具とパネル棧を、【11-2】、【11-3】、【11-5】、【11-4】を使って固定してください。

2. (つづき)

2-2 井桁格子パネルの取付け



図2-4 W1200



図2-5 W750

- : クッション材 (上下)
- : 格子パネル振れ止め (上のみ)

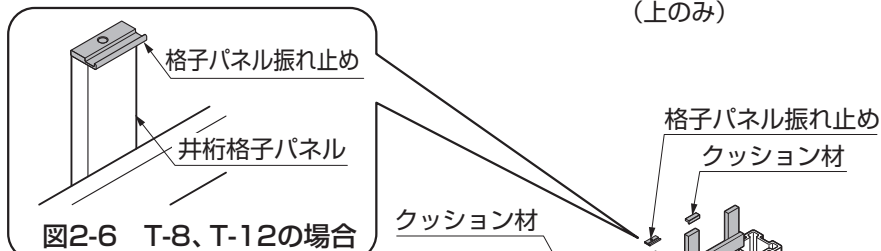


図2-6 T-8、T-12の場合

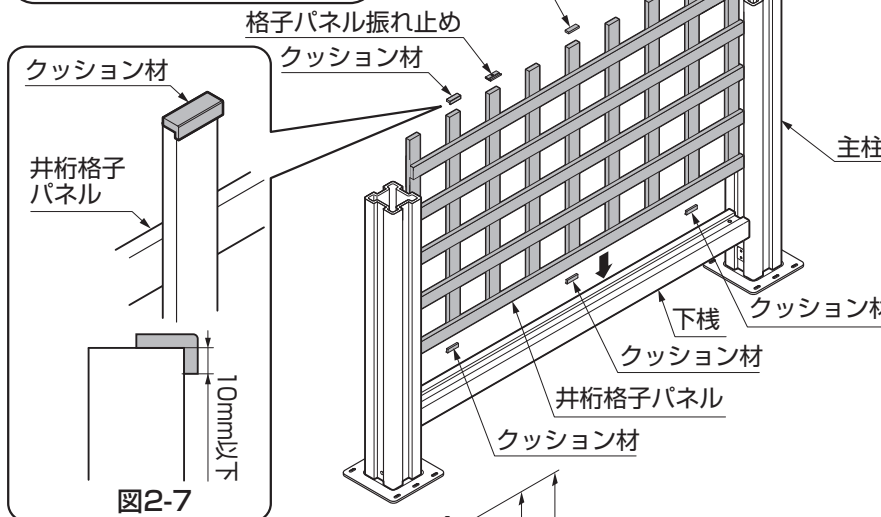


図2-7

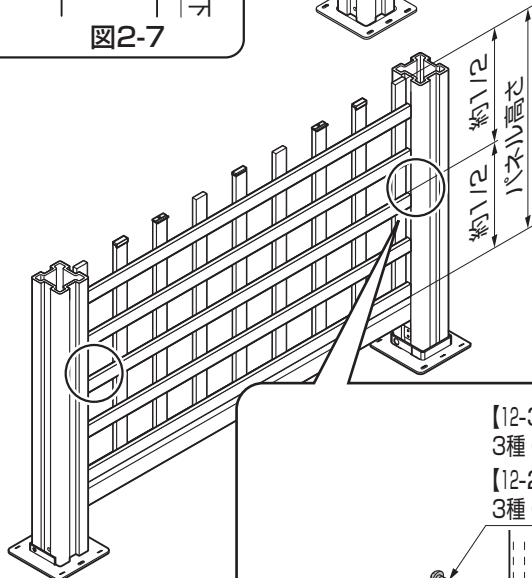
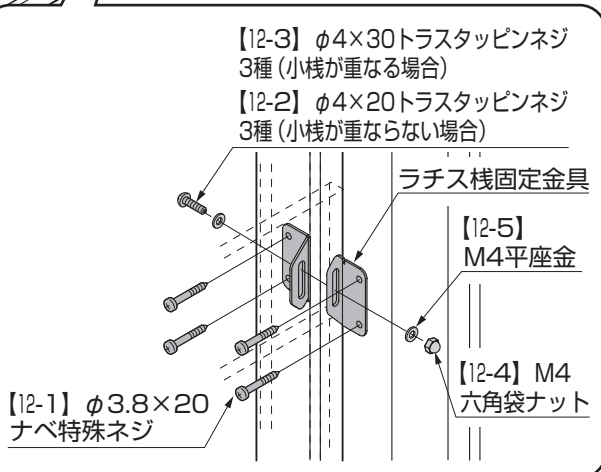


図2-8 T-18の場合



- 【I2-3】 $\phi 4 \times 30$ トラスタッピンネジ 3種 (小棧が重なる場合)
- 【I2-2】 $\phi 4 \times 20$ トラスタッピンネジ 3種 (小棧が重ならない場合)
- 【I2-1】 $\phi 3.8 \times 20$ ナベ特殊ネジ
- ラチス棧固定金具
- 【I2-5】 M4平座金
- 【I2-4】 M4六角袋ナット

①クッション材を井桁格子パネル上下に貼り付けてください。

ポイント

- W750パネルは上下4ヶ所に貼付けてください。
- クッション材を貼り付ける際、外側に折り曲げてください。(図2-7参照)

①主柱と下棧の溝に、井桁格子パネルを挿入してください。

②T-8、T-12の場合、井桁格子パネル上部のみに、格子パネル振れ止めを取付けてください。(図2-6参照)

ポイント

- W750パネルの場合は、両端より2番目になります。
- T-18の場合は、井桁格子パネルをラチス棧固定金具で固定してください。
- パネル幅の切詰めの有無でラチス棧固定金具の取付位置が異なります。
- 取付位置はパネル高さの中央に最も近い交点に取付けます。

補足

- 井桁格子パネル棧を固定する位置により、使用するネジ長が異なります。
- ラチス棧固定金具の高さは一致しません。

③ラチス棧固定金具を井桁格子パネル棧に位置を合わせて、主柱に $\phi 2.5$ の取付用下穴をあけてください。

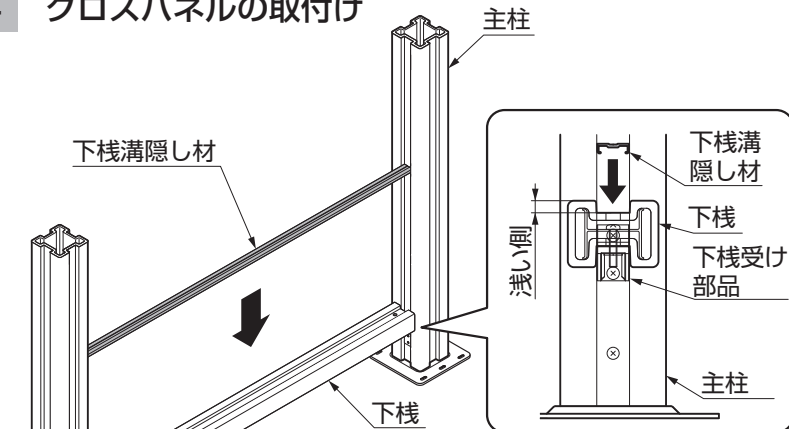
④ラチス棧固定金具を主柱に、【I2-1】で固定してください。

⑤ラチス棧固定金具の長穴部よりパネルに、 $\phi 4.5$ の貫通穴をあけてください。

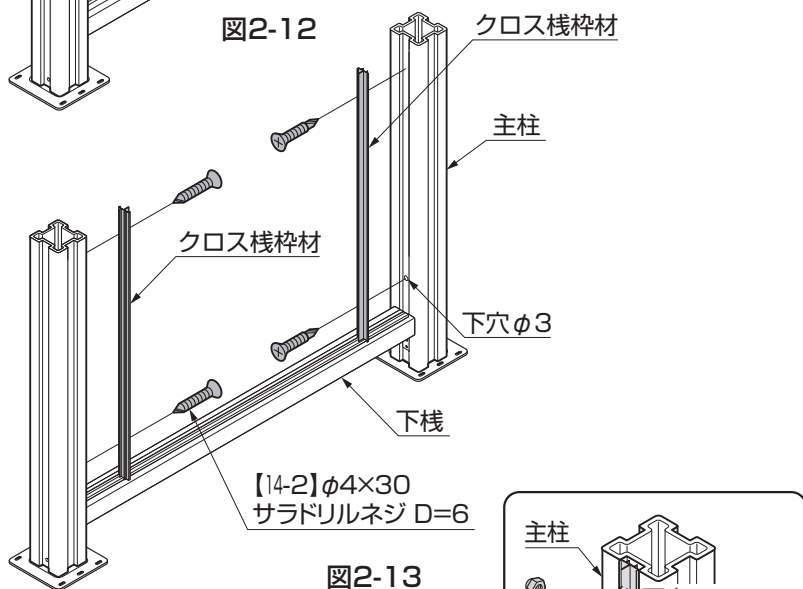
⑥ラチス棧固定金具とパネル棧を、【I2-2】、【I2-3】、【I2-5】、【I2-4】を使って固定してください。

2. (つづき)

2-4 クロスパネルの取付け

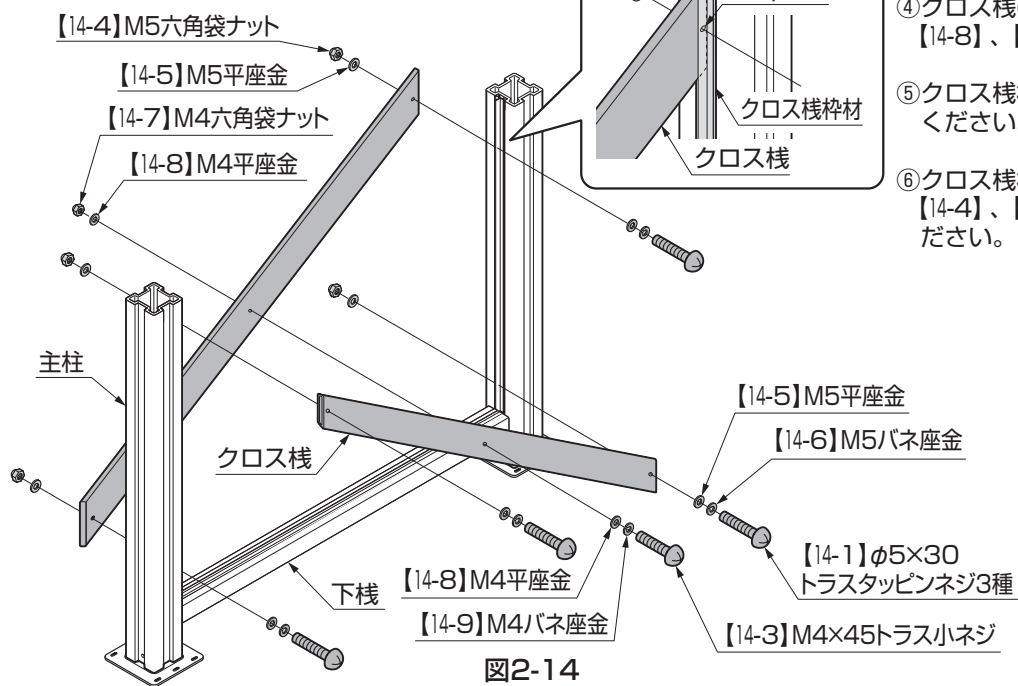


①下棧溝隠し材を下棧の溝に取付けてください。



②主柱溝部に、下側のみφ3の下穴をあけてください。

③クロス棧枠材を主柱溝部に【14-2】で取付けてください。

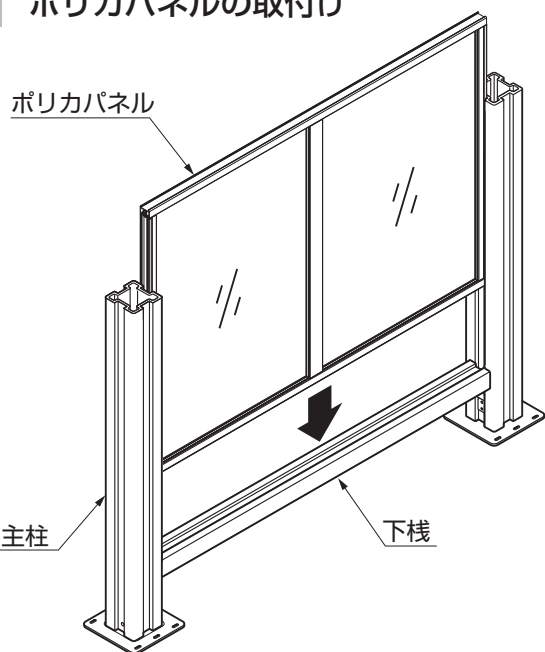


④クロス棧の中心に【14-3】、【14-7】、【14-8】、【14-9】で固定してください。

⑤クロス棧枠材にφ5.5の下穴をあけてください。

⑥クロス棧枠材にクロス棧を【14-1】、【14-4】、【14-5】、【14-6】で取付けてください。

2-5 ポリカパネルの取付け



①主柱と下棧の溝にポリカパネルを挿入してください。

3. 上棧の取付け

- [7-3] $\phi 4 \times 25$ ナベドリルネジ
- [8-5] $\phi 4 \times 25$ ナベドリルネジ
- [9-1] $\phi 4 \times 25$ ナベドリルネジ

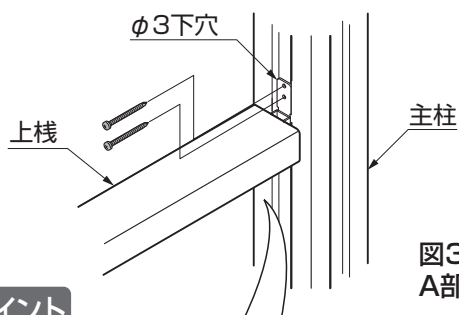
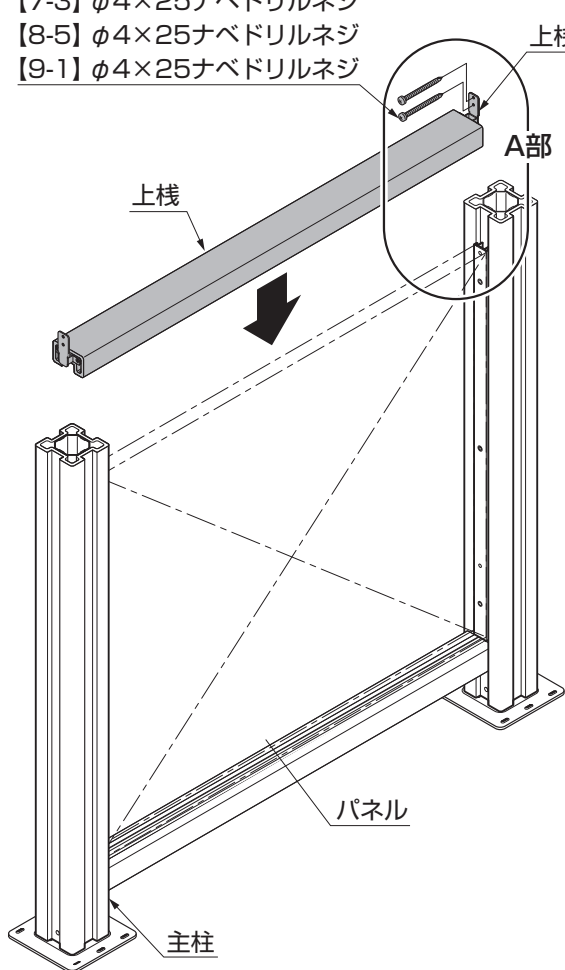
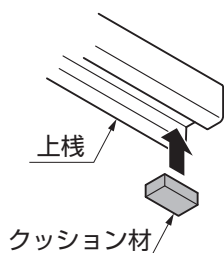


図3-1
A部詳細図

ポイント



- クロスパネル、横
ビームパネルの場合
は、上棧下側の両端
の溝に、クッション
材を貼り付けてくだ
さい。

- ①柱の溝に上棧をスライドさせて組み付け位置を決めてください。
- ②柱に上棧の片側2ヶ所のネジ位置にそって、 $\phi 3$ の下穴をあけてください。
- ③上棧を柱に、横ビームパネルの場合は【9-1】で、それ以外のパネルの場合は【7-3】で固定してください。上棧を分割した場合は【8-5】で固定してください。

ポイント

- 上棧の平行および高さを確認して組付けてください。

4. 2段フェンスの取付け

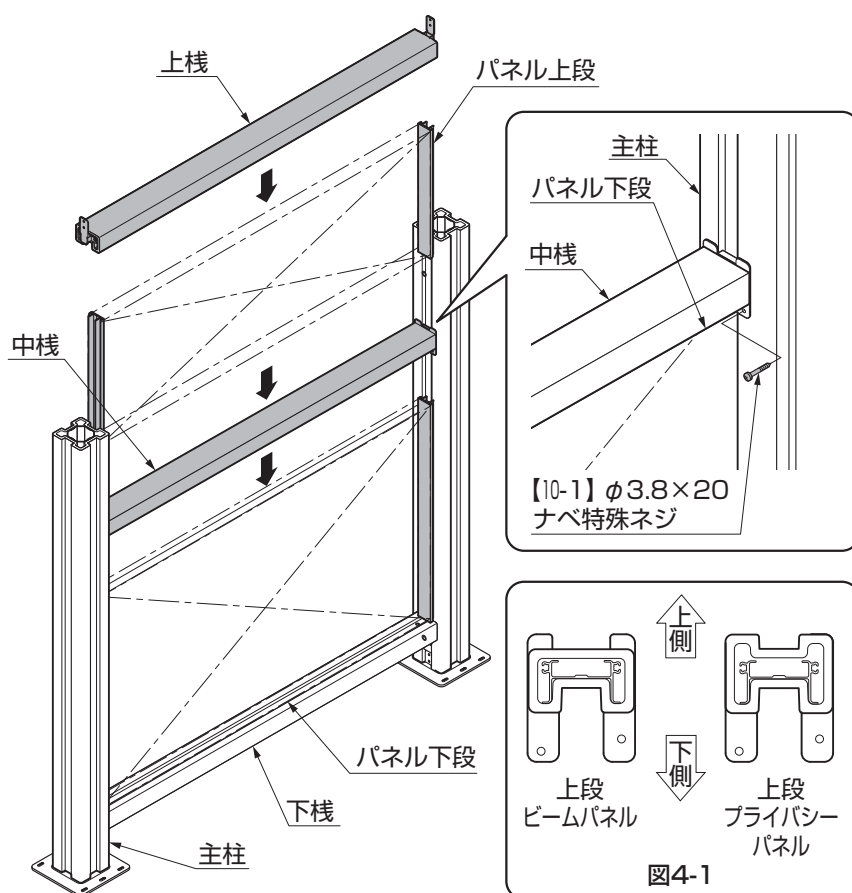


図4-2

- ① 中棧のネジ穴を下側にして、支柱溝部に取付けてください。
- ② 中棧の下側溝をパネルに合わせて組付位置を決めてください。(図4-2参照)

ポイント

- 上段ビームパネルとプライバシーパネルとは使用する中棧の形状が異なります。(図4-1参照)

- ③ 柱に中棧の片側2ヶ所のネジ位置にそれぞれφ3の下穴をあけ、【10-1】で固定してください。
- ④ パネル上段、上棧を主柱に取付けてください。

ポイント

- 上段ビームパネルを取付ける場合、ビーム桝材受け金具は使用しません。

- ⑤ 上棧の溝をパネルに合わせて組付位置を決めてください。

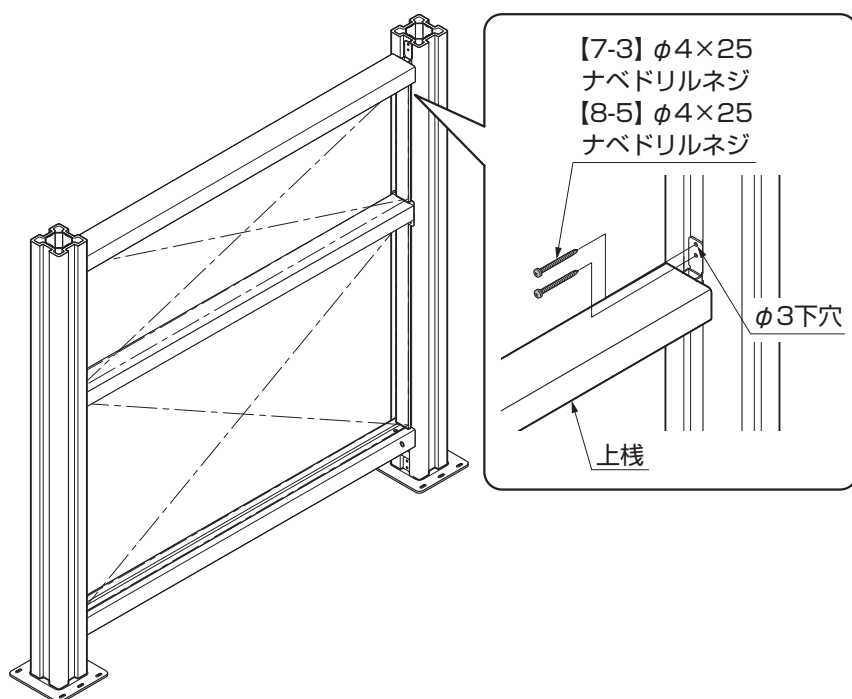


図4-3

- ⑥ 柱に上棧の片側2ヶ所のネジ位置にそれぞれφ3の下穴をあけ、【7-3】で固定してください。上棧を分割した場合は【8-5】で固定してください。

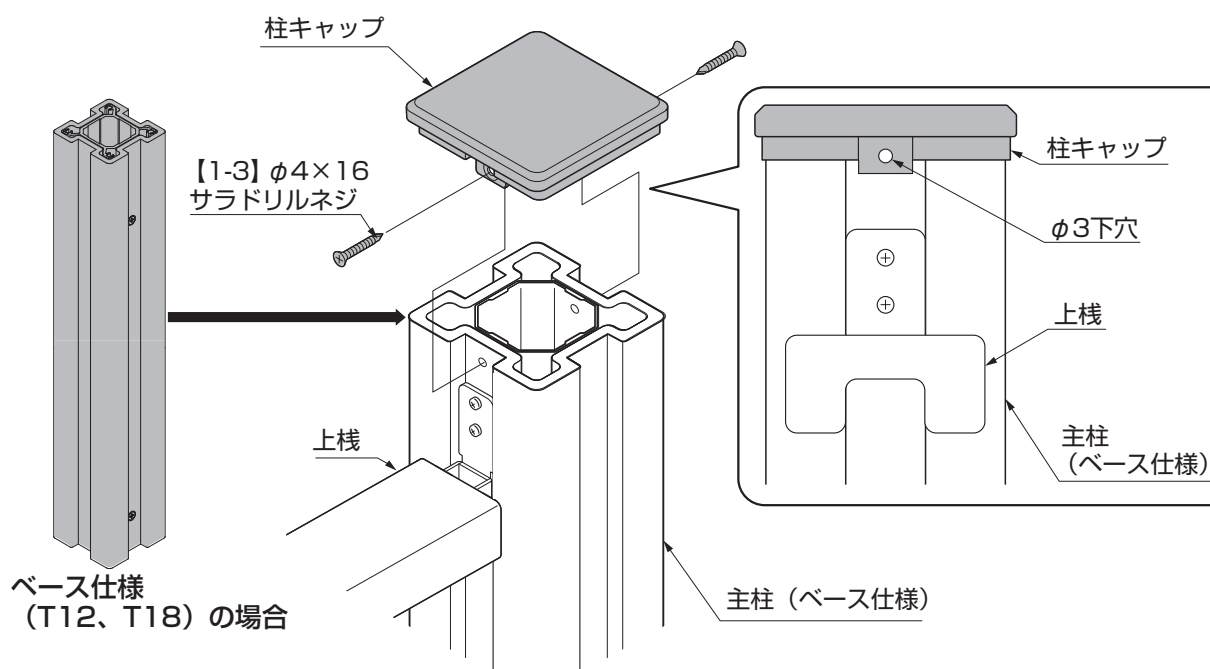
- ⑦ 上段パネルが横ビームパネルの場合、上棧の両端の溝にクッション材を取付けてください。(「2.パネルの組付け 2-3 横ビームパネルの取付け」参照)

ポイント

- 上棧の平行および高さを確認して組付けてください。

10 柱キャップの取付け

1. ベース仕様、埋込仕様 (T-8~T-12) の場合

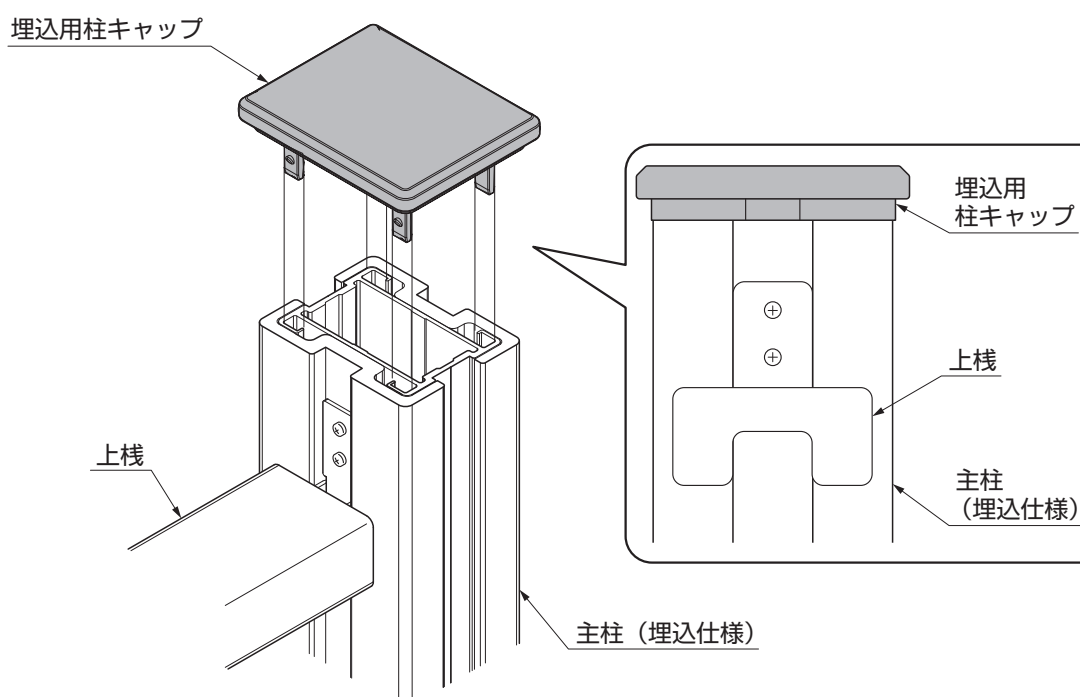


- ①パネルが取付いている向きに柱キャップのネジ位置を合わせてから、柱キャップのネジ位置にそって柱にφ3の下穴をあけてください。
- ②柱キャップを主柱に【1-3】で固定してください。

ポイント

- ネジは締め過ぎないでください。柱キャップの割れの原因になります。

2. 埋込仕様 (T-18) の場合



- ①埋込用柱キャップを主柱に差し込んで固定してください。

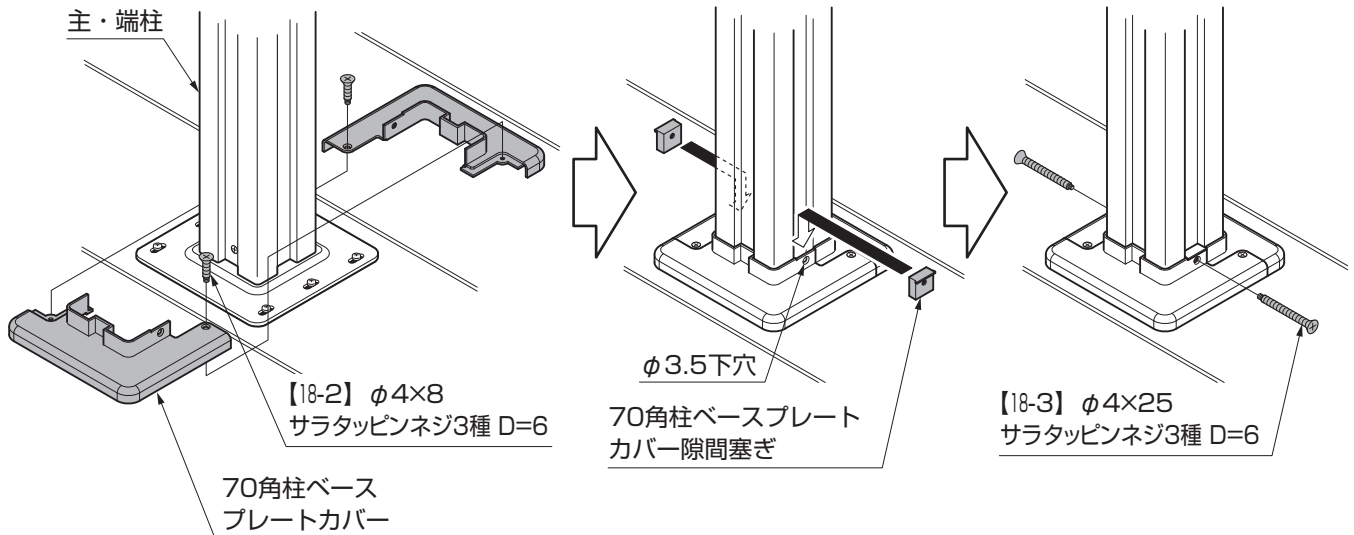
11 施工後の仕上げ

1. ベースプレートカバーの取付け

オプション

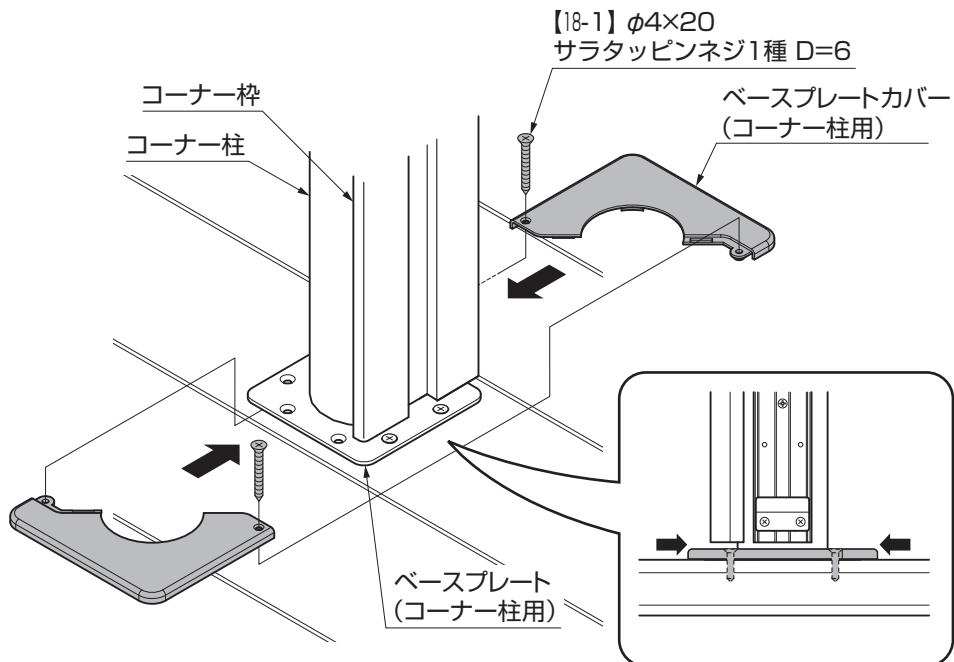
※ベース仕様の場合のみ

1-1 主柱の場合



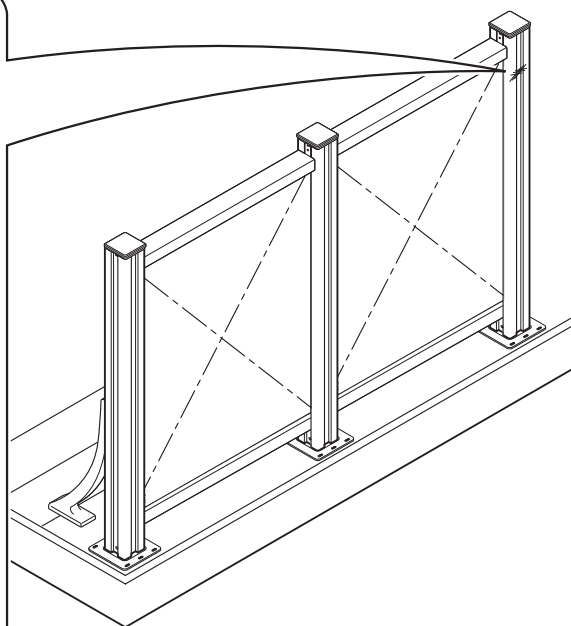
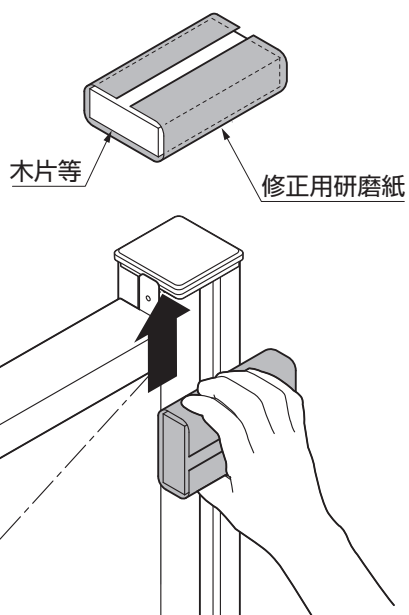
- ① 70角柱ベースプレートカバーを図の向きで柱を囲むように組み、【18-2】で固定してください。
- ② 柱にφ3.5の下穴をあけてください。
- ③ 70角柱ベースプレートカバー隙間塞ぎを柱と70角柱ベースプレートカバーのすき間に入れてください。
- ④ 70角柱ベースプレートカバーを柱に、70角柱ベースプレートカバー隙間塞ぎとともに【18-3】で固定してください。

1-2 コーナー柱の場合（ベース仕様でT-08～T-12の場合）



- ① ベースプレートカバーを図の向きで組んでください。
- ② カバー同士を【18-1】で固定してください。ネジは床板に直接固定してください。

2. 仕上げ



11
施工後の仕上げ

①施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱している修正用研磨紙で補修してください。

ポイント

- 強くこすりすぎないでください。下地が出てしまうおそれがあります。
- 一定方向にこすってください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を修正用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。

補足

- 市販の研磨紙を利用する際は、60～80番の研磨紙を使用してください。

取説コード

E352

JZZ626034E
201305A_1039
202603E_1100